

令和7(2025)年度

事業報告書



学校法人 岩手医科大学

目 次

I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 法人の沿革	2
3. 設置する学校	3
4. 入学定員数・収容定員数・現員数	3
5. 理事会・評議員会の開催状況	3
6. 役員等の概要	3
7. 諸規程の主な改正等	6
8. 主な事業の概要	8
9. 主な行事等	39
10. 土地の増減	43
11. 建物等の増減	43
12. 取得した主な機器備品等	44
13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等	45

II 人事の概要

1. 主な役職人事	47
2. 主な教職員人事	48
3. 教職員総数	48

III 学事の概要

1. 入学者、卒業（修了）者数	49
2. 学位授与者数	49
3. 文部科学省科学研究費助成事業	49
4. 厚生労働科学研究費補助金	53
5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	54
6. その他公的機関受託研究等	55
7. 解剖体慰霊祭および解剖体数	56
8. 白寿会員数	56
9. 海外出張者数	56
10. 国家試験成績	56

IV 附属病院の概要

1. 患者数	57
2. 救急患者取扱件数	57
3. 分娩件数	57
4. アイバンク登録者数	57
5. 手術件数および死亡者数	57

V 財務の概要

1. 事業活動収支	58
2. 資本収支	60
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	61
4. 令和7年度事業活動収支計算書	62
5. 令和7年度資金収支計算書	63
6. 貸借対照表	64
7. 医療収入内訳	65
8. 令和7年度事業活動収支構成比率	66
9. 令和7年度教育活動収支構成比率	67
10. 経年比較	68
11. 参考：学校法人会計の特徴について	75

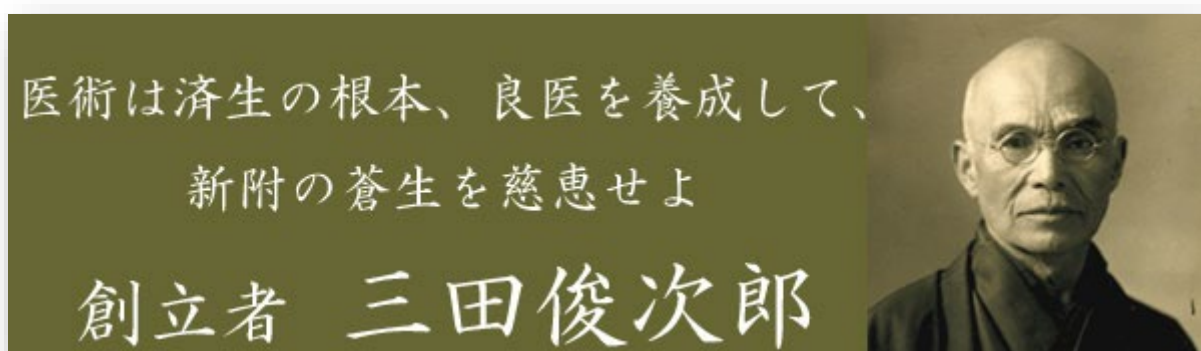
VI 学校法人の業務の適正を確保するための体制 （内部統制システム）の整備及び運用状況の概要

1. 関係する決議の概要	80
2. 体制整備及び運用状況の概要	80

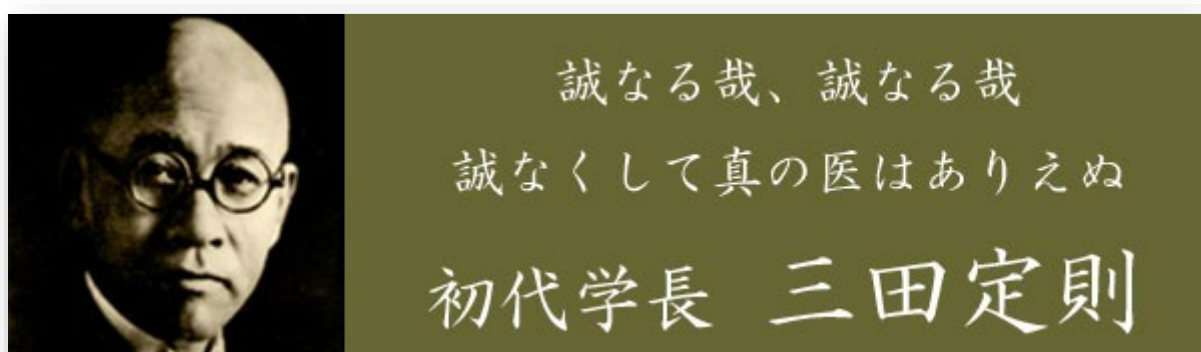
I 法人の概要

1. 建学の精神

本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。【岩手医科大学学則 第1章・第1条】



西欧化の荒波が押し寄せる中、明治新政府の医療施策は定まらず、岩手県では医療機関が長期に亘り途絶える等、県民の医療は困窮を極めていました。これを憂いた三田俊次郎は、私財を投じて私立岩手病院を設立、同時に医師、看護婦、産婆の養成に努めました。自らは勤儉力行に徹する一方、幾多の社会福祉事業、育英事業を興し、生涯を弱者救済と人材育成に捧げました。



俊次郎の限りない人類愛を受け継ぎ、岩手医学専門学校第2代校長となった定則は、戦後の学制改革に際し陣頭指揮を執って大学昇格を果たし、初代学長に就任しました。温厚にして飾らず、誰に対しても敬と愛をもって接した定則は「医師たらんとする者は先ず人間であらねばならぬ」を持論とし、人類の理想に「誠」を掲げました。

俊次郎と定則の精神は、私立学校法改正に伴う学校法人岩手医科大学への組織変更に際し、新制岩手医科大学学則に高らかに謳われ、今日まで脈々と受け継がれています。

2. 法人の沿革

明治30年	私立岩手病院開院 医学講習所・産婆看護婦養成所併設	平成19年	矢巾キャンパス第一次事業竣工 薬学部・共通教育センター開設
明治34年	私立岩手医学校設立認可	平成21年	附属病院に循環器医療センターを開設 (附属循環器医療センターを統合)
大正15年	岩手病院診療棟(現一号館)竣工	平成22年	超高磁場先端MRI研究所竣工
昭和3年	財団法人岩手医学専門学校設立認可	平成22年	附属PET・リニアック先端医療センター開設
昭和22年	財団法人岩手医科大学に組織変更	平成23年	矢巾キャンパス第二次事業竣工 医学部・歯学部基礎講座統合 共同研究部門を医歯薬総合研究所に改組 歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校を統合し、 岩手医科大学医療専門学校へ名称変更
昭和23年	医学部医学科開設	平成24年	附属病院ドクターヘリ基地ヘリポート竣工
昭和26年	学校法人岩手医科大学に組織変更	平成25年	大学院薬学研究科開設 災害時地域医療支援教育センター・ マルチメディア教育研究棟竣工
昭和27年	新制岩手医科大学発足	平成26年	共通教育センターを全学教育推進機構に改組
昭和30年	医学進学課程設置	平成28年	岩手看護短期大学開設 矢巾キャンパスにエネルギーセンター竣工 附属病院にPET・リニアック先端医療センターを開設 (附属PET・リニアック先端医療センターを統合)
昭和35年	大学院医学研究科博士課程開設	平成29年	看護学部開設
昭和40年	歯学部、教養部開設	平成30年	矢巾キャンパスにやはばなかよし保育園竣工
昭和41年	岩手歯科技工士学校開設	平成31年	附属花巻温泉病院閉院
昭和42年	歯学部附属病院開院	令和元年	矢巾キャンパスに新附属病院竣工 法人及び大学の本部を矢巾キャンパスに変更 矢巾キャンパスに附属病院を移転 内丸キャンパスに附属内丸メディカルセンターを開院
昭和47年	記念図書館竣工	令和2年	岩手看護短期大学閉学 岩手医科大学医療専門学校歯科技工学科閉科
昭和51年	岩手歯科技工士学校を 岩手歯科技工専門学校に名称変更	令和3年	矢巾キャンパスにResident Heim(レジデントハイム)を竣工
昭和55年	岩手県と共同で岩手県高次救急センター開設 [現 岩手県高度救命救急センター]	令和4年	矢巾キャンパスに感染症対策センターを竣工
昭和58年	大学院歯学研究科博士課程開設		
平成2年	サイクロトロンセンター開設		
平成5年	附属花巻温泉病院開院		
平成6年	岩手医科大学附属病院に特定機能病院の承認		
平成9年	創立六十周年記念館竣工 附属循環器医療センター開院		
平成12年	超高磁場MRI研究施設竣工 木の花会館竣工		
平成16年	岩手医科大学歯科衛生専門学校開校 岩手歯科技工専門学校を 岩手医科大学歯科技工専門学校に名称変更 大学院医学研究科修士課程開設		
平成17年	附属病院に歯科医療センターを開設 (歯学部附属病院を統合)		

3. 設置する学校

- (1) 岩手医科大学
 大学院 医学研究科 医学部 医学科
 歯学研究科 歯学部 歯学科
 薬学研究科 薬学部 薬学科
 看護学部 看護学科
- (2) 岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生専門課程（3年制）

4. 入学定員数・収容定員数・現員数（令和7年5月1日現在）

学 校	学部・学科等	入学定員数	収容定員数	現員数
①岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	200名	105名
	修士課程	10名	20名	15名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	72名	24名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	12名	3名
	医学部 医学科	130名	772名	806名
	歯学部 歯学科	73名	438名	240名
	薬学部 薬学科	50名	460名	240名
	看護学部 看護学科	90名 編入学 5名	370名	351名
②岩手医科大学 医療専門学校	歯科衛生専門課程	40名	120名	80名

5. 理事会・評議員会の開催状況

理事会は計15回、評議員会は計3回開催しました。

6. 役員等の概要

- (1) 役員等の定員数、現員数、氏名等（令和8年3月31日現在）

①理 事

定員数：7名以上12名以内 現員数：11名

理事長 祖父江 憲 治（常勤）

理事※ 小笠原 邦 昭（常勤） 下 沖 収（常勤） 三 田 ひろみ（非常勤）

三 田 義 之（非常勤） 高 橋 真 裕（非常勤） 仲 哲 治（常勤）

小 林 琢 也（常勤） 河 野 富 一（常勤） 遠 藤 太（常勤）

森 野 禎 浩（常勤）

※理事長を除く常勤の理事を業務執行理事として選定している。また、非常勤の理事は非業務執行理事かつ外部理事（選任の際現に本法人の役員や職員等でない者）に該当する。

②監事

定員数：2名以上3名以内 現員数：2名

酒井明夫(常勤) 池田克典(非常勤)

③評議員

定員数：13名以上20名以内 現員数：15名

河嶋寛	小原紀彰	加藤章信	大黒英貴
佐藤悦子	八木淳子	村山裕孝	高橋耕博
嶋森好子	三上藤雄	小澤正吾	本間博
小山耕太郎	相澤文恵	大庭英樹	

④会計監査人

定員数：1名 現員数：1名

北光監査法人(岩手県盛岡市菜園一丁目3番6号)

(2) 役員等の異動

①理事

(条項変更) 下沖収(寄附行為第8条第1項第2号 令和7年6月10日)
 (退任) 下沖収(寄附行為第8条第1項第2号 令和8年3月31日)
 (退任) 森野禎浩(旧寄附行為第7条第1項第5号 令和8年3月31日)

②監事

(新任) 酒井明夫(令和7年6月9日 常勤監事として選定)
 (退任) 小野寺正二(令和7年6月9日)

③評議員

(条項変更) 河嶋寛(寄附行為第33条第1項第1号評議員 令和7年6月9日)
 (条項変更) 小原紀彰(寄附行為第33条第1項第1号評議員 令和7年6月9日)
 (条項変更) 加藤章信(寄附行為第33条第1項第1号評議員 令和7年6月9日)
 (条項変更) 佐藤悦子(寄附行為第33条第1項第2号評議員 令和7年6月9日)
 (条項変更) 山本和博(寄附行為第33条第1項第2号評議員 令和7年6月9日)
 (条項変更) 三上藤雄(寄附行為第33条第1項第3号評議員 令和7年6月9日)
 (条項変更) 小澤正吾(寄附行為第33条第1項第3号評議員 令和7年6月9日)
 (条項変更) 高橋耕博(寄附行為第33条第1項第3号評議員 令和7年6月9日)
 (条項変更) 嶋森好子(寄附行為第33条第1項第3号評議員 令和7年6月9日)
 (新任) 大黒英貴(寄附行為第33条第1項第1号評議員 令和7年6月9日)
 (新任) 赤坂真奈美(寄附行為第33条第1項第2号評議員 令和7年6月9日)
 (新任) 本間博(寄附行為第33条第1項第3号評議員 令和7年6月9日)
 (新任) 小山耕太郎(寄附行為第33条第1項第3号評議員 令和7年6月9日)
 (新任) 相澤文恵(寄附行為第33条第1項第3号評議員 令和7年6月9日)
 (新任) 大庭英樹(寄附行為第33条第1項第3号評議員 令和7年6月9日)
 (退任) 祖父江憲治(旧寄附行為第19条第2項第1号評議員 令和7年6月9日)
 (退任) 小笠原邦昭(旧寄附行為第19条第2項第2号評議員 令和7年6月9日)

(退任)	三浦廣行	(旧寄附行為第19条第2項第3号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	佐々木真理	(旧寄附行為第19条第2項第3号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	佐藤保	(旧寄附行為第19条第2項第3号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	小林琢也	(旧寄附行為第19条第2項第3号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	松政正俊	(旧寄附行為第19条第2項第4号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	河野富一	(旧寄附行為第19条第2項第4号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	佐藤和朗	(旧寄附行為第19条第2項第4号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	遠藤太	(旧寄附行為第19条第2項第4号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	森野禎浩	(旧寄附行為第19条第2項第4号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	高橋真裕	(旧寄附行為第19条第2項第5号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	三田ひろみ	(旧寄附行為第19条第2項第5号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	三田義之	(旧寄附行為第19条第2項第5号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	下沖収	(旧寄附行為第19条第2項第5号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	三浦幸枝	(旧寄附行為第19条第2項第5号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	菊池進	(旧寄附行為第19条第2項第6号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	斎藤和好	(旧寄附行為第19条第2項第6号評議員)	令和7年6月9日)
(退任)	山本和博	(寄附行為第33条第1項第2号評議員)	令和8年3月26日)
(退任)	赤坂真奈美	(寄附行為第33条第1項第2号評議員)	令和8年3月26日)
(新任)	八木淳子	(寄附行為第33条第1項第2号評議員)	令和8年3月27日)
(新任)	村山裕孝	(寄附行為第33条第1項第2号評議員)	令和8年3月27日)

④会計監査人

(新任) 北光監査法人 (令和7年6月9日)

(3) 責任限定契約の状況

私立学校法及び寄附行為に従い、責任限定契約を締結している。

①対象役員の氏名

- ・非業務執行理事：三田ひろみ、三田義之、高橋真裕
- ・監事：酒井明夫、池田克典

②契約内容の概要

当該役員がその任務を怠ったことにより学校法人に損害を与えた場合において、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金100万円と、在職中に学校法人から職務執行の対価として受け、又は受けるべき財産上の利益の1年間当たりの額に相当する額として私立学校法施行規則第26条に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額との、いずれか高い額を限度として、損害賠償責任を負うものとしている。

③契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約において、当該役員がその職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときに責任を限定することを明確にしている。

7. 諸規程の主な改正等

- (1) 岩手医科大学組織規程等の一部改正について（令和7年5月26日改正）
 - ①創立120周年記念事業の終了に伴い、組織機構図から「創立120周年記念事業実行委員会」を削除し、併せて創立120周年記念事業実行委員会規程を廃止（令和7年5月26日施行・廃止）
 - ②令和7年4月1日施行の私立学校法及び寄附行為に基づき、組織機構図に「会計監査人」を追加（令和7年度定時評議員会終結の時から施行）
- (2) 岩手医科大学学則の一部改正（令和7年6月30日改正、令和7年8月1日施行）

令和8年度入学者選抜から薬学部編入学者選抜（第4学年4月編入）を実施するにあたり、薬学部の編入に係る授業料等を規定
- (3) 歯学部及び薬学部の特待生規程の一部改正（令和7年6月30日改正、令和7年7月1日施行）

特待生制度に関する文言の追記及び修正
- (4) 職員就業規則の一部改正（令和7年7月28日改正、令和7年10月1日施行）
 - ①「生理休暇」の名称を「健康管理休暇」に変更
 - ②満3歳以上小学校就学前の子を養育する職員を対象に、育児と就労の両立を図るための「養育両立支援休暇」を無給にて新設
- (5) 岩手医科大学組織規程及び教育職員の定員に関する規程の一部改正（令和7年7月28日改正、令和7年8月1日施行）
 - ①岩手医科大学組織規程：医歯薬総合研究所長及び教員等の選考方法を変更し、研究所長を補佐する副所長を新設、統合基礎講座医学教育学講座に教育支援システム開発分野を新設
 - ②教育職員の定員に関する規程：別表定員表に教育支援システム開発分野を新設
- (6) 附属病院規程の一部改正（令和7年9月29日改正、令和7年10月1日施行）

特殊診療部門に血管腫・脈管奇形治療センターを設置
- (7) 岩手医科大学組織規程の一部改正（令和7年10月14日改正、令和7年10月15日施行）
 - ①医歯薬総合研究所における産学及び地域連携並びに研究開発の推進強化を主軸とした研究体制の構築を目指し、現行の12部門6センター（室）を4部門4センター（室）に改編
 - ②教授及び准教授選考に係る手順を明確にするとともに、研究施設等に技師長及び主任技術員を置くことができる旨を追加
- (8) 教育職員の定員に関する規程の一部改正（令和7年10月14日改正、令和7年10月15日施行）

統合基礎講座の医学部・歯学部基礎助教定員を減員し、医歯薬総合研究所の助教定員を増設
- (9) 岩手医科大学組織規程及び経営改善委員会規程の一部改正（令和7年11月25日改正、令和7年12月1日施行）
 - ①岩手医科大学組織規程：「経営改善委員会」の名称を「経営戦略会議」に変更
 - ②経営改善委員会規程：経営戦略の企画及び立案の役割を明確にするため、規程名称を「経営戦略会議規程」に改め、役割等を追記
- (10) 教育職員の定員に関する規程の一部改正（令和7年11月25日改正、令和7年12月1日施行）

統合基礎講座法科学講座法歯学・災害口腔医学分野の運用体制の安定化と教育力の充実を図るため、当該分野の教授定員を新設

- (11) 岩手医科大学学則の一部改正（令和7年12月15日改正、令和8年4月1日施行）
令和8年度の医学部入学定員等について、従前と同様に35名（岩手県地域枠）の臨時定員増が認可されたことに伴う学生定員の変更
- (12) 岩手医科大学における大学発スタートアップ等から取得する株式等の取扱規程の制定（令和8年1月26日制定、令和8年4月1日施行）
本学の研究成果に係る大学発スタートアップ等から取得する株式等の取扱規程を制定
- (13) 附属病院規程及び附属内丸メディカルセンター規程の一部改正（令和8年1月26日制定、令和8年4月1日施行）
- ①附属病院規程：令和8年4月の附属病院統合に伴う診療体制の変更及び各種ガイドラインの改訂等を踏まえた組織改編
 - ②附属内丸メディカルセンター規程：無床診療所への変更等に即した組織改編
- (14) 岩手医科大学組織規程の一部改正（令和8年2月3日改正、令和8年4月1日施行）
令和7年4月施行の改正私立学校法等に基づく法人管理体制の強化及び経営改善に資する組織体制の構築を目的とする事務局組織改編
- (15) 職員就業規則等の一部改正（令和8年3月17日改正、令和8年4月1日施行）
- ①職員就業規則の一部改正：特別休暇取得事由の確認方法、健康管理休暇、通院休暇、子の看護等休暇、介護休暇、出生サポート休暇、病気休暇並びに承認申請手続、交替等、時差勤務者の勤務時刻及び休憩時間に関する項目を整備
 - ②職員の介護休業及び介護短時間勤務に関する規程：規程名称を「職員の介護休業等に関する規程」に変更
 - ③再雇用職員の取扱いに関する規程：経過措置期間の満了に伴い、再雇用の採用基準に関する適用条件を削除
 - ④臨時職員に係る年次有給休暇の取扱要領：働き方の多様化（短時間勤務者の増加）に伴い、年次有給休暇の付与日数及び休暇単位を整理
- (16) 組織規程の一部改正（令和8年3月30日改正、令和8年4月1日施行）
医歯薬総合研究所超高磁場先端MR I 研究センターを廃止
- (17) 岩手医科大学学則の一部改正（令和8年3月30日改正、令和8年4月1日施行）
- ①学部毎の在学年限を規定
 - ②各学部における令和8年度教育課程を再編
- (18) 教育職員の定員に関する規程の一部改正（令和8年3月24日改正、令和8年4月1日施行）
医学部運用定員の任期付助教定員を減員し、医歯薬総合研究所の任期付助教定員を新設
- (19) 名誉教授の称号に関する規程の一部改正（令和8年3月24日改正、令和8年4月1日施行）
名誉教授称号授与基準に係る功績を審議するため、名誉教授選考評議会を設置

8. 主な事業の概要（中期計画）

（1）学校法人岩手医科大学中期計画（Vision 2025-2029）の実施状況

本法人は、私立大学における経営環境が一層厳しさを増す中、安定的な運営を行い、使命を果たしていくため、「学校法人岩手医科大学中期計画（Vision 2025-2029）」（以下、中期計画）を策定し、必要に応じて計画の見直しを行い、事業の適切な推進に努めてきました。

令和7年度は10月時点で取組・進捗状況を中間検証し、その結果については機関会議で確認の上、大学の財政状況や社会情勢等も踏まえて中期計画の一部見直しを行い、令和8年度事業計画にも反映させることで事業の適切な推進に努めました。

【中間検証結果】

- ・基準日 2025年10月1日
- ・対象事業 中期計画に基づく令和7年度実施予定事業（全178事業）
- ・検証結果 【ア】計画どおり達成した 21事業（11.8%）
 【イ】計画どおり達成する見通し 149事業（83.7%）
 【ウ】計画どおり達成する見通しが立たない 8事業（4.5%）

区分	事業数	進捗状況	内訳	割合%
1. 経営・財務改善関係	36事業	【ア】計画どおり達成した	0	0.0%
		【イ】計画どおり達成する見通し	36	100.0%
		【ウ】達成する見通しが立たない	0	0.0%
2. 教育・研究関係	79事業	【ア】計画どおり達成した	17	21.5%
		【イ】計画どおり達成する見通し	59	74.7%
		【ウ】達成する見通しが立たない	3	3.8%
3. 補助事業及び委託事業関係	18事業	【ア】計画どおり達成した	1	5.5%
		【イ】計画どおり達成する見通し	17	94.5%
		【ウ】達成する見通しが立たない	0	0.0%
4. 診療関係	20事業	【ア】計画どおり達成した	1	5.0%
		【イ】計画どおり達成する見通し	19	95.0%
		【ウ】達成する見通しが立たない	0	0.0%
5. 管理・運営関係	19事業	【ア】計画どおり達成した	2	10.5%
		【イ】計画どおり達成する見通し	17	89.5%
		【ウ】達成する見通しが立たない	0	0.0%
6. 施設・設備関係	6事業	【ア】計画どおり達成した	0	0.0%
		【イ】計画どおり達成する見通し	1	16.7%
		【ウ】達成する見通しが立たない	5	83.3%
合計	178事業	【ア】計画どおり達成した	21	11.8%
		【イ】計画どおり達成する見通し	149	83.7%
		【ウ】達成する見通しが立たない	8	4.5%

1. 経営・財務改善関係

	中期計画	主な実施事業	進捗状況
①	経営・財務改善に向けた取り組み	間接材調達費の最適化	【イ】
		化学療法における入院／外来の最適化	【イ】
		差額室料の最適化	【イ】
		医師事務作業体制加算の取得	【イ】
		個室料金設定の見直し	【イ】
		高額医療機器保守料、メンテナンス料の見直し	【イ】
		医療材料費削減活動ローコストオペレーション（LCO）の実施	【イ】
		ICU 運営体制の再構築	【イ】
		DPC のコーディング精査、体制構築	【イ】
		治験件数の増加のための取り組み	【イ】
		病棟再編成、ベッドコントロール運用の再構築、病床運用の効率化	【イ】
		材料管理／請求の徹底	【イ】
		術前検査の外来化	【イ】
		病棟個室数の増加	【イ】
		大型投資の繰り延べ、削減	【イ】
		学納金、寮費の検討	【イ】
		支出の削減（学部業務委託費等）	【イ】
		入学者確保に向けた取り組み	【イ】
		薬学部の今後の在り方の検討	【イ】
		②	附属病院（本院）への診療体制の集約化
矢巾附属病院における内丸機能集約スペース確保及び各種改修工事	【イ】		
矢巾への段階的な移転に合わせた内丸地区診療機能の整理（歯科）	【イ】		
③	医歯薬総合研究所の改編（先進的イノベーション創薬研究所の設立）	臨床研究・臨床治験業務の支援	【イ】
		中期計画課題の外部資金獲得の支援	【イ】
		知的財産管理の支援	【イ】
		産学連携の支援	【イ】
		TR の支援（基礎研究シーズの発掘、育成など）	【イ】
		PMDA など規制当局への対応の支援（規制対応）	【イ】
		生体資源・情報の収集、管理	【イ】
		臨床講座、学部と連携した基盤研究と創薬研究の実施	【イ】
		倫理審査の一括管理	【イ】

I 法人の概要

2. 教育・研究関係

	中期計画	主な実施事業	進捗状況
①	大学院医学研究科： 入学者の確保と 大学院教育課程の 充実の推進	情報公開の充実化及び募集広報の推進	【イ】
		大学院教育における管理体制の整備推進	【イ】
		研究科担当教員の研究・教育能力の向上	【ア】
②	医学部： 教育の質の向上と 学修成果達成に向けた 医学教育の推進	共用試験（CBT、OSCE）・医師国家試験対策	【イ】
		教務体制・学修支援体制の強化	【イ】
		社会の要請及びステークホルダーに応じた医学教育プログラム策定	【イ】
		医学部教員の教育活動能力の向上	【ア】
③	大学院歯学研究科： 教育課程の充実と 大学院生の確保	先端的研究の推進と歯科分野における高度専門職業人の育成	【イ】
		情報通信技術（ICT）を用いた遠隔教育の導入	【イ】
		教員研修の積極的な実施	【イ】
		教育の質向上に向けた評価制度と教員育成	【イ】
④	歯学部： 教育の質の向上に向けた 教育改革の推進	情報公開の充実化及び募集広報方式の改革	【イ】
		ICTを活用した学生が学びやすいカリキュラムの構築	【イ】
		歯科医師国家試験・共用試験と歯学部における各種試験との 整合性の確保と合格基準の適正化	【イ】
		学生への学修支援体制の構築と学修環境の整備 （内丸キャンパス歯学部の講義室整備）	【イ】
⑤	歯学部： 入学生確保の取り組みの 推進	教育改革の成果検証、効果的なPDCAサイクルの実現	【イ】
		歯学部ホームページ保守、SNS 広告掲載	【ア】
		歯学部広報誌の発刊による広報活動	【ア】
		歯科医師という職業の認知度を向上させるための啓発活動	【イ】
⑥	大学院薬学研究科： 教育の質向上と学生確保	特待生制度の分析評価と効果検証	【イ】
		薬学研究科の4つのポリシーの見直し	【イ】
		薬学研究科博士課程の入学者確保対策	【イ】
		学位授与方針に示した学修成果の可視化	【イ】
⑦	薬学部： 薬学部の志願者及び 入学者確保	薬学研究科担当教員の研究・教育能力の向上	【イ】
		薬学部特待生制度及び同窓生学納金減免制度の検証	【イ】
		広報活動による薬学の魅力紹介	【イ】
⑧	薬学部： 教育の質向上を目指す 取り組みの実施・評価 及びその結果に基づく 教育改善	ホームページやSNSによる情報発信	【イ】
		教育する側の質の向上を目指した教員組織体制の見直しとFD実施	【イ】
		クラス担任制度の強化	【イ】
		学修成果の判定及び可視化	【イ】
⑨	看護学部： 看護学部の発展に向けて 教育研究基盤を向上 させていくための 取り組み	薬剤師国家試験対策	【イ】
		学修者本位の教育の実施と学修成果の把握並びに教育の適切性点検	【イ】
		「地元創成看護学」に関する取り組みの推進	【イ】
		補助金の積極的な獲得に向けた取り組み	【イ】
		教員の適切な人材配置と必要に応じた組織体制の見直し	【イ】
		入学生の確保と国家試験合格率の高位維持	【イ】

	中期計画	主な実施事業	進捗状況
⑩	全学的教育改革の支援活動	全学的教育改革の支援	【イ】
		FD・SD（教職員研修）の積極的な実施	【イ】
		eラーニングツール等教育資源の検討整備	【イ】
		多職種連携等の全学的な検討	【イ】
⑪	教学 IR の推進 (Institutional Research)	学修成果の可視化と教学改善への活用の推進	【イ】
		ファクトブックの継続的作成と公開	【ア】
		学修支援アンケート実施と解析、公表及び学生へのフィードバック	【ア】
		卒業後アンケートの実施と解析	【イ】
		アセスメントテストの実施と解析	【イ】
		データ分析のサポート	【イ】
⑫	教育設備の導入	Web シラバス専用システムの導入	【ウ】
⑬	教育設備の更新	マルチメディア教室ノートパソコンの更新	【イ】
⑭	教育設備の更新	教務システムの更新	【ア】
⑮	実習関連機器等の 年次更新 (教養教育センター)	物理学の実習機器等整備	【ア】
		化学の実習機器等整備	【ア】
		生物学の実習機器等整備	【イ】
		他科目等に関する機器等の整備	【ウ】
⑯	初年次教育の強化	カリキュラムの見直し	【イ】
		学修支援の継続、内容に関する検討	【イ】
		入学前教育に関する高大連携体制の構築	【イ】
⑰	シミュレーション整備	機器の新規購入・更新と維持管理	【ア】
⑱	研究機器の戦略的な更新 と共用推進、研究施設 スタッフのスキルアップ、 利用者数増加のための サービス内容の周知	研究機器の戦略的な更新と共用推進	【イ】
		研究施設スタッフのスキルアップ	【イ】
		研究施設の利用者数増加のためのサービス内容の周知	【イ】
⑲	社会連携・社会貢献に 関する活動による 教育研究活動の推進	研究成果の社会還元支援（特許等知的財産権利化・維持支援、研究成果の公開と連携模索支援）	【イ】
		教育研究の高度化に対応した教職員及び学生に対する啓発（知的財産、研究活動におけるリスクマネジメント）	【イ】
		地場産業クラスターや産学連携推進協議会等の集積拠点への参画による研究開発の促進	【イ】
		競争的資金（産学連携関係）への組織的な斡旋と申請内容の多角的視点からのブラッシュアップ等獲得支援	【イ】
⑳	学生支援体制の推進	支援体制の整備・見直し	【ウ】
		キャンパスライフガイドの作成	【ア】
		課外活動への支援	【ア】
㉑	教育環境の整備	視聴覚機器の整備（矢巾キャンパス）	【ア】
㉒	入試制度改革の推進と 積極的な広報活動による 入学者確保の推進	入試制度改革の推進と円滑な試験運営の実施	【イ】
		積極的な入試広報活動による学生募集と入学者の確保	【イ】
		大学案内発行、オープンキャンパスの開催	【ア】
		受験生サイト・出願システムの管理運営	【ア】
㉓	学生の希望を叶えるための キャリア支援体制の 構築	企業研究セミナー（学内合同企業説明会）	【イ】
		キャリア支援講演会・ガイダンスの開催	【イ】
		就活支援ブック・広報用リーフレットの印刷等	【ア】
		求人検索システムの運用	【ア】
㉔	医療専門学校： 入学生確保と国家試験 合格率の高位維持	入学定員充足率向上を目指した広報活動の展開	【イ】
		満足度の高いオープンキャンパスの工夫	【イ】
		国家試験合格を見据えた学修支援の強化	【イ】

I 法人の概要

3. 補助事業及び委託事業関係

	中期計画	主な実施事業	進捗状況
①	災害対応医療人の育成	日本災害医療ロジスティクス研修	【イ】
		災害時実践力強化事業	【イ】
		災害医療研修会	【イ】
		いわての師匠事業	【イ】
②	東北メディカル・メガバンク計画	東北メディカル・メガバンク計画	【ア】
③	岩手県高度救命救急センター運営事業	岩手県高度救命救急センター運営事業	【イ】
		岩手県高度救命救急センター設備整備	【イ】
④	岩手県ドクターヘリ運航事業	岩手県ドクターヘリ運航事業	【イ】
		岩手県ドクターヘリ設備整備	【イ】
⑤	総合周産期母子医療センター運営事業	周産期母子医療センター運営事業	【イ】
		周産期医療施設設備整備事業	【イ】
		小児医療施設設備整備事業	【イ】
⑥	岩手県こころのケアセンター運営事業	被災者支援	【イ】
		普及啓発活動	【イ】
		人材育成	【イ】
⑦	いわてこどもケアセンター運営事業	相談	【イ】
		研修	【イ】
		研究・啓発	【イ】

4. 診療関係

	中期計画	主な実施事業	進捗状況
①	病院経営改善に向けた取り組みの推進	集中系病棟運営体制の再構築後の検証・継続したモニタリング及び更なるHCU増床検討	【イ】
		一般病棟再編成並びに患者サポートセンターの強化（医師・看護師の負担軽減に資する病床運用）	【イ】
		有料個室の再編並びに重症個室設定（重症者等療養環境特別加算）	【イ】
		患者負担の軽減並びにバイオシミラー使用推進を目的とした化学療法の入院化	【イ】
		治験に係る経費算出基準の改訂並びに治験件数増加	【イ】
		DPC コーディングの適正化及び診療録管理体制加算1算定に向けた診療情報管理士の確保・育成	【イ】
		医師事務作業補助者体制加算上位加算への移行並びに運用体制強化	【イ】
		業務委託費の適正化（医事・施設管理・警備等）	【イ】
		高額医療機器の保守・メンテナンス料の削減	【イ】
		医療材料費削減活動 LCO の実施、医療材料購入・消費・請求最適化	【イ】
		附属病院における印刷コスト削減計画	【イ】
②	医療の質向上に向けた取り組みの推進	病院機能評価更新審査に向けての準備・受審	【イ】
		医療の質管理部門の設置・医療クオリティマネージャーの養成	【イ】
		当院における QI 指標策定・医療の質可視化プロジェクト継続参加	【イ】
		当院の課題・改善点抽出と対策実施、継続したモニタリング、管理	【イ】
③	医師の時間外労働規制に対する取り組みの推進	医師労働時間管理適正化に向けた取り組み（休日時間外労働確認）	【イ】
		産業保健の仕組み活用（安全衛生委員会報告、長時間勤務者面談）	【イ】
		特定労務管理対象医療機関の指定継続に向けた取り組み	【イ】
④	医療情報システムの更新	医療情報システム一部機能追加・部分改修	【ア】
⑤	管理栄養士増員による増収計画	管理栄養士増員による増収計画	【イ】

5. 管理運営関係

	中期計画	主な実施事業	進捗状況
①	ガバナンス・コードに基づく法人運営の推進	ガバナンス・コードに基づく法人運営の推進	【イ】
		中期計画及び事業計画の実行と進捗・進捗状況等の管理	【イ】
②	事業活動資金の財源確保に向けた募金活動の展開	効果的な募金活動の展開	【イ】
		顕彰活動の継続実施	【イ】
③	事務局の業務効率化推進	事務局の業務効率化推進	【イ】
④	勤怠管理システムの導入	勤怠管理システムの導入	【イ】
⑤	財務基盤の確立	中長期的な経営再建計画の実現に向けて資金を確保するための中長期財務計画の作成	【ア】
		厳格な予算配分と執行	【イ】
		経営再建計画並びに中長期財務計画の分析とモニタリング	【イ】
⑥	固定資産の適正な管理及び有効活用の推進	固定資産の適正な管理	【イ】
		所有不動産の有効活用の推進	【イ】
		機器備品の有効活用の推進、適正管理	【イ】
⑦	情報セキュリティ対策	情報セキュリティに対するリテラシー向上、BCP 対策	【イ】
		ウイルスや迷惑メールによるサイバー攻撃の防止・予防	【ア】
⑧	高品質・高信頼・高可用な情報通信ネットワーク維持及び整備	内丸メディカルセンター移転・統合に伴う内丸総合情報センターサーバ室の移設検討	【イ】
⑨	ネットワーク・サーバの持続可能な保守体制構築	ネットワーク及びサーバの持続可能な保守体制の構築	【イ】
⑩	大学運営の適切性についての点検・評価及びその結果に基づく改善・向上に向けた監査の実施	内部監査環境の整備	【イ】
		法人運営の効率化に資する内部監査の実施	【イ】
		内部監査に関する基本的事項の周知・有効性に関する啓発	【イ】

6. 施設設備関係

	中期計画	主な実施事業	進捗状況
①	内丸地区活用検討の推進	内丸地区再整備検討懇話会・再整備検討会議への参加、岩手県・盛岡市・盛岡商工会議所との個別意見交換の継続	【イ】
②	建物・建築設備維持運用に係る修繕計画（矢巾）	機械設備修繕	【ウ】
		電気設備修繕	【ウ】
③	建物・建築設備維持運用に係る修繕計画（附属病院）	機械設備修繕	【ウ】
		電気設備修繕	【ウ】
④	図書館防災対策	傾斜スライド棚取り付け	【ウ】

I 法人の概要

(2) 変更を行った中期計画： 13 計画

1. 経営・財務改善関係

	中期計画	主な実施事業
①	経営・財務改善に向けた取り組み	集中治療系病棟の運営体制検証・継続検討
		病棟再編、在院日数適正化、オーバーⅢプロジェクト
		差額室料の最適化・病棟個室の増加
		化学療法における入院／外来の最適化
		治験件数の増加のための取り組み
		医師事務作業補助者上位加算への移行、運用体制強化
		高額医療機器保守料・メンテナンス料の見直し
		医療材料費削減活動 (LCO) の実施、印刷コストの削減
		術前検査の外来化・ベンチマーク比較による多職種検討
		大型投資の繰り延べ、削減
		外的資金の獲得
		入学者確保に向けた取り組み
		薬学部の今後の在り方の検討
		学納金・寮費の検討、見直し
		内丸図書館時間外廃止
		警備・施設管理の適正化
		学友会館閉館 (本町キャンパス)
		7T-MRI 稼働停止 (保守・液体ヘリウム費用削減)
		固定資産の適正な管理及び有効活用の推進
		本町なかよし保育園閉園
マイクロバス運行廃止		
太陽光発電設備の増設		
電力割引契約		
②	附属病院 (本院) への診療体制の集約化	内丸メディカルセンター外来機能・入院機能の移転
		矢巾附属病院における内丸機能集約スペースの確保及び各種改修工事
		矢巾への段階的な移転に合わせた内丸地区診療機能の整理 (歯科)
③	医歯薬総合研究所の改編	創薬研究に特化した研究体制の構築
		産官学連携の推進
		学部・基礎・臨床の垣根を超えた共同研究の創出

2. 教育・研究関係

	中期計画	主な実施事業
①	歯学部： 教育の質の向上に向けた教育改革の推進	ICT を活用した学生が学びやすいカリキュラムの構築
		歯科医師国家試験・共用試験と歯学部における各種試験との整合性の確保と合格基準の適正化
		学生への学修支援体制の構築と学修環境の整備 (内丸キャンパス歯学部の講義室整備)
		教育改革の成果検証、効果的な PDCA サイクルの実現
②	教務システムの更新	教務システムの更新と Web ポータルサイト及び Web シラバスの導入
		Web シラバス専用システムの導入 (※教務システムの更新と一本化)
③	実習関連機器等の年次更新 (教養教育センター)	物理学の実習機器等整備
		化学の実習機器等整備
		生物学の実習機器等整備
		他科目等に関する機器等の整備

3. 補助事業及び委託事業関係

	中期計画	主な実施事業
①	東北メディカル・メガバンク計画	東北メディカル・メガバンク計画
②	岩手県こころのケアセンター運営事業	被災者支援
		普及啓発活動
		人材育成
③	いわてこどもケアセンター運営事業	相談
		研修
		研究・啓発

4. 診療関係

	中期計画	主な実施事業
①	病院経営改善に向けた取り組みの推進 (※経営・財務改善に集約)	集中系病棟運営体制の再構築後の検証・継続したモニタリング及び更なるHCU増床検討
		一般病棟再編並びに患者サポートセンターの強化 (医師・看護師の負担軽減に資する病床運用)
		有料個室の再編並びに重症個室(重症者等療養環境特別加算)の設定
		患者負担の軽減並びにバイオシミュラー使用推進を目的とした化学療法入院化
		治験に係る経費算出基準の改訂並びに治験件数増加
		DPCコーディングの適正化及び診療録管理体制加算1算定に向けた診療情報管理士の確保・育成
		医師事務作業補助者体制加算上位加算への移行並びに運用体制の強化
		業務委託費の適正化(医事・施設管理・警備等)
		高額医療機器の保守・メンテナンス料の削減
		医療材料費削減活動LCOの実施並びに医療材料の購入・消費・請求最適化
		附属病院における印刷コスト削減計画
②	医療情報システムの更新	仮想サーバ更新及びストレージ増設
		電子カルテシステム更新
		病院部門システム更新
		医療情報システム一部機能追加・部分改修

6. 施設設備関係

	中期計画	主な実施事業
①	図書館防災対策	滑り止めの設置やブックエンドによる固定、配架の見直し
②	建物、建築設備維持運用に係る修繕計画 (矢巾キャンパス・内丸キャンパス)	建物修繕
		機械設備修繕
		電気設備修繕
		内丸キャンパス設備改修工事

I 法人の概要

(3) 追加を行った中期計画： 2計画

4. 診療関係

	中期計画	主な実施事業
①	医療 DX・遠隔医療基盤を活用した大学病院機能強化と地域医療支援体制の構築	臨床研究 DX パッケージ
		AI 活用型医療 DX による大学病院教育研究基盤強化事業
		診療録 AI 音声入力による臨床医研究時間創出・教育研究基盤強化事業
		AI を活用した医療説明動画作成支援システム導入事業
		セキュア遠隔電子カルテ運用基盤整備事業
		バイタルデータ連携システム整備事業
		県立病院とのオンライン診療による地域医療支援と臨床医の研究時間創出を両立する大学病院強化事業

5. 管理運営関係

	中期計画	主な実施事業
①	障害者雇用の推進	障害者雇用の推進

8. 主な事業の概要（事業計画）

（2）令和7（2025）年度事業計画の実施状況

本法人は、中期計画に基づき令和7年度は58の事業を計画し、事業の適切な推進に努めました。各般にわたる事業を展開した結果、全58事業中、「計画どおり達成した」は46事業（79.3%）、「一部達成した」は11事業（19.0%）、「達成しなかった」は1事業（1.7%）となり、概ね計画通り実施されました。

達成しなかった主な理由としては、大学の財政状況を鑑み実施を見送りとしたことが挙げられます。

【検証結果】

- ・基準日 2026年3月31日
- ・対象事業 事業計画に基づく令和7年度実施事業（全58事業）
- ・検証結果
 - 【ア】計画どおり達成した 46事業（79.3%）
 - 【イ】一部達成した 11事業（19.0%）
 - 【ウ】達成しなかった 1事業（1.7%）

区分	事業数	達成状況	事業数	割合%
1. 経営・財務改善関係	6事業	【ア】計画どおり達成した	5	83.3%
		【イ】一部達成した	1	16.7%
		【ウ】達成しなかった	0	0.0%
2. 教育・研究関係	23事業	【ア】計画どおり達成した	17	73.9%
		【イ】一部達成した	6	26.1%
		【ウ】達成しなかった	0	0.0%
3. 補助事業及び委託事業関係	10事業	【ア】計画どおり達成した	10	100.0%
		【イ】一部達成した	0	0.0%
		【ウ】達成しなかった	0	0.0%
4. 診療関係	5事業	【ア】計画どおり達成した	4	80.0%
		【イ】一部達成した	1	20.0%
		【ウ】達成しなかった	0	0.0%
5. 管理運営関係	12事業	【ア】計画どおり達成した	9	75.0%
		【イ】一部達成した	3	25.0%
		【ウ】達成しなかった	0	0.0%
6. 施設設備関係	2事業	【ア】計画どおり達成した	1	50.0%
		【イ】一部達成した	0	0.0%
		【ウ】達成しなかった	1	50.0%
合計	58事業	【ア】計画どおり達成した	46	79.3%
		【イ】一部達成した	11	19.0%
		【ウ】達成しなかった	1	1.7%

1. 経営・財務改善関係

	事業計画	実施状況	達成状況
①	経営・財務改善に向けた取り組み 【短期施策】	(ア) 附属病院、内丸メディカルセンターの取り組み ・集中治療系病棟の運営体制検証、継続検討 ・病棟再編、在院日数適正化、オーバーⅢプロジェクト ・差額室料の最適化、病棟個室の増加 ・化学療法における入院／外来の最適化 ・治験件数の増加のための取り組み ・医師事務作業補助者上位加算への移行、運用体制強化 ・高額医療機器保守料、メンテナンス料の見直し ・医療材料費削減活動（LC0）の実施、印刷コストの削減 ・術前検査の外来化、ベンチマーク比較による多職種検討 ・大型投資の繰り延べ、削減	【ア】 計画どおり達成した
		(イ) 大学（学部）の取り組み ・外的資金の獲得 ・入学者確保に向けた取り組み ・薬学部の今後の在り方の検討 ・学納金、寮費の検討 ・支出の削減（大学の業務委託費等） ・大学施設の閉鎖、機器の停止	【イ】 一部達成した
		(ウ) 法人の取り組み ・固定資産の適正な管理及び有効活用の推進 ・電力割引契約	【ア】 計画どおり達成した
	経営・財務改善に向けた取り組み 【中長期施策】	・現状把握、赤字要因の特定、戦略課題の抽出 ・中期施策、経営再建計画、ロードマップの策定	【ア】 計画どおり達成した
②	附属病院（本院）への診療体制の集約化	<p>矢巾附属病院への診療機能の集約化に向け、外来機能整備のため、段階的に工事を実施しながら診療体制の構築を進めました。</p> <p>第1段階として、東7B病棟（45床）の病床を24床削減するとともに、外来2階に設置されていた化学療法センター及びがん患者・家族サロンを移転する工事を行い、2025年10月に稼働を開始しました。</p> <p>また、東7B病棟の病床削減に加え、その他の一般病棟及び精神病棟の病床も見直し、合計50床を削減した結果、附属病院の病床数は1,000床から950床となりました。</p> <p>続く第2段階として、2026年1月に精神科外来をBブロックから4階のKブロックへ移転しました。</p> <p>さらに、第3段階として、2026年4月1日の最終的な病院集約に向け、外来増設や医局設置等の各種工事を順次実施、3月下旬</p>	【ア】 計画どおり達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
		<p>には内丸から矢巾への引越作業を完了し、診療機能の集約が完了しました。</p> <p>なお、外来患者数及び附属病院の職員数の増加に対応するため、駐車場の整備も併せて完了しました。</p> <p>この診療機能の集約により、医師の移動負担の軽減を図るとともに、効率的な診療体制を確保及び業務委託費や医療機器の保守料等の固定費を削減しました。</p>	
③	先進的イノベーション創薬研究所（仮称）の設立	<p>医歯薬総合研究所は、創薬研究を中心に据え、地域企業や自治体との連携を強化することにより、地域経済の活性化にも貢献し得る研究所を目指し、2025年度は体制整備を重点的に実施しました。具体的には、創薬研究に重点を置いた体制へ再構築するため、従来13あった部門を4部門に再編しました。</p> <p>また、自治体、県内大学及び企業との連携強化を目的とした交流会を開催し、さらに、地方医科大学間において、相互の研究資源及び知見を活用し、医学・医療分野における学術研究の推進、研究活動の活性化及び人材育成を図ることを目的とした連携協定を締結しました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した

2. 教育・研究関係

	事業計画	実施状況	達成状況
①	大学院医学研究科： 入学者確保に向けた活動の推進	<p>入学者確保に向けた取り組みの一環として、これまで冊子体で配付していた大学院入学ガイドを電子化し、医学研究科ホームページから閲覧できる環境を整備しました。</p> <p>また、博士・修士課程の秋入学者に対する学位申請等スケジュールを作成・周知する等、個々の学生に応じた管理体制を構築しました。</p> <p>秋入学を含めた安定的な入学者の確保に向け、ホームページの見直し等、引き続き広報活動の強化を推進します。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
②	医学部： 学修支援体制の強化による医師国家試験合格率と進級・卒業率の向上	<p>医師国家試験合格率の向上及び原級・卒業留置者の減少に向けた対策として、第2～6学年の留置者と成績低迷者には、学修支援委員会・チューター・教務委員会が中心となり、基礎知識の向上、自己学修姿勢の定着、モチベーションの維持・向上を目的とした少人数双方向性学修支援プログラムやグループ学修の充実を図るとともに、種々の予備校プログラムを効果的に利用し、国家試験対策と成績低迷者対策を強化しました。</p> <p>また、低学年からの生活習慣の適正化と自己学修習慣の習得のため、担任・教務委員会・学生部が連携して、第1～2学年に対する多角的な指導と支援を継続して行いました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
③	大学院歯学研究科： 教育課程の充実と 大学院生の確保	<p>先端的研究の推進と高度専門職業人の育成に向け、大学院歯学研究科ではディプロマ・ポリシーに基づくコンピテンスを策定し、学位論文審査やコースワーク等に点数制評価を導入することで研究過程の可視化と質保証を図りました。併せて、歯学教育支援システムを活用したオンライン演習や個別フィードバックにより、学生理解度に応じた効率的な修学支援体制を構築しました。</p> <p>また、教員研修会を実施し、FD活動を通じた教育力向上を推進しています。</p> <p>さらに、学位論文審査基準の明確化を通じて教育体制の質の向上を図るとともに、学位取得プロセス可視化と情報公開の充実により透明性を高め、優秀な大学院生の確保に取り組んでいます。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
④	歯学部： 教育の質の向上に 向けた教育改革の 推進	<p>教務委員会下の三部会（カリキュラム検討・成績評価・学修支援）の連携体制を定着させ、国家試験合格率の向上と留年防止に向けた取り組みを推進しました。特に、講座の組織再編及び定員見直しによる教育研究体制の整備を進めるとともに、5・6学年合同模擬試験の実施や知識の定着を目的とする科目の設置により、早期からの学修意識を醸成しました。</p> <p>また、試験結果分析に基づく評価基準の適正化や、指導担当教員による個別指導の強化を図りました。併せて、歯学教育支援システムを活用した課題配信や個別フィードバックの体系化により、自学自習の促進と知識定着を支援しています。</p> <p>さらに、学修環境の維持と ICT 機器更新に向けた整備を進めるとともに、教学 IR による学修成果の可視化や外部評価を踏まえた改善を通じ、実効性の高い PDCA サイクルを確立し、教育の質向上を継続的に推進しています。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
⑤	歯学部： 入学生確保の 取り組みの推進	<p>歯学部広報委員会を中心に、ホームページの充実や SNS 活用によるデジタル広報を強化し、受験生・保護者への効果的な情報発信を推進しました。「歯学部だより」の継続発行により教育・研究・臨床の取組を広く周知しています。</p> <p>また、出前講座や歯科医療体験講座、体験入学、高校・予備校訪問などのアウトリーチ活動を通じて歯科医師の職業認知度向上と志願者層の拡大を図りました。</p> <p>さらに、2025 年度導入の特待生制度について入試結果の分析を進め、優秀な学生確保に向けた検証ならびに SNS を用いた広告活動の効果分析を実施しています。</p> <p>これらに加え、指導担当教員制度や ICT を活用した学修支援の充実により教育の質を可視化し、「選ばれる大学」としての基盤強化に取り組んでいます。</p>	【ア】 計画どおり 達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
⑥	大学院薬学研究科： 教育の質向上と 学生確保	<p>(ア) 入学者の確保 本年度大学院志願者は3名、合格者3名であり、入学定員充足率は100%となりました。</p> <p>(イ) 4つのポリシーの見直し 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）をもとに教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）の検証（DP・CPと講義科目等との関係性を示す履修系統図の作成）及び評価方針（アセスメント・ポリシー）の再検討に着手しました。</p> <p>(ウ) 学位授与方針に示した学修成果の可視化 全学教育推進機構が中心となって学修成果の可視化シミュレーションが行われたことを受け、その内容をもとに試験運用を始めていくことを確認しました。</p> <p>(エ) 研究科担当教員の研究・教育能力の向上 大学全体の研究体制大改革に沿う形で、医歯薬総研の各種研究プロジェクトへの参画や、講演会、研究倫理の向上及び研究科主催のFDに参加し、資質向上に努めました。</p>	【イ】 一部達成 した
⑦	薬学部： 入学者確保に向けた 薬学部の魅力・発信 力の強化	<p>(ア) 2025年度入試から新設した薬学部特待生制度及び同窓生学納金減免制度の検証 当該制度は2025年度から始まったため詳細な検証には至っていませんが、同制度で入学した学生全員が次年度も特待生を継続できる成績圏内を達成しました。</p> <p>(イ) 広報活動による薬学部の魅力発信 小・中学生の早い時期から薬学に興味や魅力を感じてもらうため、オープンキャンパスのほか、薬学部独自企画である「薬用植物に親しむ会」の開催、秋田県薬剤師会と連携した進学相談会参加を通じた秋田県内からの潜在的入学生の確保を継続して行いました。加えて、キオクシア・アイーナで開催された「いわてまるごと情報・科学館」に薬学部として出展したところ、約500名の親子連れの参加があり、大盛況となりました。岩手県内外の高校生の大学見学での学部紹介も実施しました。</p> <p>さらに、薬学部独自に株式会社薬王堂と矢巾町と連携した産官学連携による地域貢献に向けた取り組みも新たに開始し、大学からの広報のみならず、在学生にとっても将来を考える貴重な体験機会を提供することができました。</p> <p>(ウ) ホームページやSNSによる情報発信 広報委員会内にホームページワーキンググループを設置し、学部独自のホームページ、インスタグラム等を通じて、高校生をターゲットとした情報発信に努めました。</p>	【イ】 一部達成 した

	事業計画	実施状況	達成状況
⑧	<p>薬学部： 教育の質向上と 学修成果・教育成果 の可視化</p>	<p>(ア) 教育する側の質の向上を目指した教員組織体制の見直しとFD実施</p> <p>分野別認証評価受審の結果、適合認定を受けました。特に「薬学教育カリキュラム」の3項目、「教員組織・職員組織」の1項目は、本学の長所として高い評価を得たことから、教育関係の質は保証されているものと考えます。この結果をもとに、教員組織体制を今一度見直すことにより、更なる教育の質向上を目指すことを確認しました。</p> <p>(イ) クラス担任制度の強化</p> <p>これまで同様、教員と学生との良好な人間関係が構築できており、少人数教育・サポートのメリットを十分に活用できています。今後も、より手厚い学生支援を実施します。</p> <p>(ウ) 学修成果の判定及び可視化</p> <p>全学教育推進機構が中心となって学修成果の可視化シミュレーションが行われたことを受け、その内容をもとに試験運用を始めしていくことを確認しました。</p> <p>(エ) 薬剤師国家試験対策</p> <p>第111回薬剤師国家試験の現役合格率は全国平均を下回ったものの、過去6年間累計での現役合格率は全国平均とほぼ同等の数値を達成できています。</p> <p>ここ数年の国家試験問題の出題傾向を分析した上で新たな取り組みを5年次学生に対して開始し、その成果を問うべく、2026年3月に実施された全国模試では、全国トップの成績(受験34大学)を収めました。</p> <p>また、今年度は現役卒業率の向上を第二目標として掲げました。その結果、目標数値(70%)を上回る74.4%を達成することができました(前年比17ポイント増)。</p>	<p>【イ】 一部達成 した</p>
⑨	<p>看護学部： 看護学部の発展に 向けて教育研究基盤 を向上させていくた めの取り組み</p>	<p>看護学教育について、卒業時コンピテンシー及びコンピテンシ達成ロードマップ・マトリックスに基づいた学修者本位の教育を実施し、学生対象に到達度調査を実施することで達成状況を確認しました。</p> <p>教育の適切性の点検について、看護学教育モデル・コア・カリキュラム(2024年度改訂版)を参照し、現行のカリキュラムの適切性の点検を開始しました。</p> <p>地元創成看護学に関する取り組みとして、矢巾町における医療的ケア児の避難支援に向けた活動などを行い、これらの活動を2026年度のカリキュラムに自由科目「地元創成看護」として新設しました。</p>	<p>【ア】 計画どおり 達成した</p>

	事業計画	実施状況	達成状況
		<p>そのほか、教科書や教材の電子化について検討し、2026年度から資料等教材の電子化、2027年度から電子教科書を導入する方針を決定しました。</p> <p>研究面について、補助金の積極的な獲得に努めた結果、科学研究費において採択件数、採択率、採択金額ともに向上が見られました。</p> <p>教員組織について、大学設置基準、保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の基準を遵守し、教員の適切な役割分担のもとで、組織的な連携体制が維持できるよう適正な教員配置・採用を行いました。</p> <p>入学生の確保に向けた取り組みとして、入学者選抜において総合型選抜を導入しました。</p> <p>また、学部独自のホームページ等を通して大学の魅力を積極的に発信するほか、高校訪問において、本学部の魅力をチラシやポスターにまとめ、県内外の高校へ宣伝しました。</p> <p>国家試験合格率の高位維持に向けた取り組みとして、模擬試験を複数回実施し、模擬試験結果については分析を行い学生の傾向を把握した上で第4学年を対象とする対策講義を実施しました。</p> <p>そのほか、学修指導が必要な学生に対して学修相談、学修の進捗状況の確認、小テストの実施などのサポートを行いました。また、個別の学修支援を実現するためのeラーニング「カスタマーサクセス看護」を導入し、活用に努めました。</p>	
⑩	全学的教育改革の支援活動	<p>(ア) 全学的教育改革の支援</p> <p>シラバス作成方法の見直し等を通じて、カリキュラムの適切性の検証や単位の実質化を図るなど、全学的な教育改革の支援を継続しています。</p> <p>(イ) 教職員研修の積極的な実施</p> <p>全学的な教職員研修として、新任教員向けFD、シラバス作成に関するFD、ティーチングポートフォリオを活用した教育改善FDを継続しています。</p> <p>(ウ) eラーニングツール等教育資源の検討整備</p> <p>教務システムの更新に併せた学生ポータルサイトの導入について検討し、2026年度の事業計画として承認されました。</p> <p>(エ) 多職種連携等の全学的な科目に係る検討</p> <p>多職種連携教育WGの活動を通じて、3つの学年で実施している多職種連携教育（IPE）科目間の連携等による更なる充実を図るなど、取り組みを継続しています。</p>	【ア】 計画どおり 達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
⑪	<p>教学 IR の推進 (Institutional Research)</p>	<p>(ア) 学修成果の可視化等の推進 コンピテンシー達成ロードマップ・マトリックスを活用したディプロマ・ポリシーの達成度可視化方法を検討し、2025年度在学生に対するフィードバックを行いました。今後もブラッシュアップを継続します。</p> <p>(イ) ファクトブックの継続的作成と公開 ファクトブックを作成し、ホームページにて公開しました。</p> <p>(ウ) 学修支援アンケートの実施と解析、公表と学生へのフィードバック 学修支援アンケートを実施し、調査結果を各学部・学生にフィードバックするとともに、ホームページで公開することを継続しました。</p> <p>(エ) 卒業後アンケート調査の実施と解析 卒業後アンケートを実施し、調査結果を各学部でフィードバックするとともに、ホームページで公開することを継続しました。</p> <p>(オ) アセスメントテストの実施と解析 アセスメントテストの活用状況等を鑑み、今後の実施を見送ることについて、教学 IR センター運営委員会で承認しました。</p> <p>(カ) データ分析のサポート ストレート進級・卒業率等の分推移、入試の妥当性に関する検証等、必要に応じてデータ分析のサポートを継続しました。</p>	<p>【イ】 一部達成した</p>
⑫	<p>教育設備の更新 (マルチメディア教室ノートパソコン)</p>	<p>学生数に基づく設置台数の見直し等を行い、2023年度から4年間で160台の更新を計画しています。 この計画に基づき2025年度は40台の更新を行いました。</p>	<p>【ア】 計画どおり達成した</p>
⑬	<p>実習関連機器等の年次更新(教養教育センター)</p>	<p>物理学科、化学科、生物学科及びその他の学科において、機器更新を計画しておりましたが、一部機器については大学の財政状況により予算化されなかったことから整備ができませんでした。</p>	<p>【イ】 一部達成した</p>
⑭	<p>教養教育、準備教育に係る教育見直しと高大連携の改善</p>	<p>(ア) 選択科目の見直し 社会環境の変化や学部教育上の課題の変容等に応じて、カリキュラムの見直しを継続的に行っています。 また、多職種連携教育WGの活動を通じて、3つの学年で実施している多職種連携教育(IPE)科目間の連携等による更なる充実を図るなど、取り組みを継続しています。</p> <p>(イ) 学修支援の継続、内容に関する検討 WebClassを活用したオンデマンドでの講義(生物)を実施するとともに、内容の見直しを行い、充実を図りました。物理学等、その他の科目については、科目毎に担当教員による通常の指導を継続しました。</p>	<p>【ア】 計画どおり達成した</p>

	事業計画	実施状況	達成状況
		<p>また、1学年及び2学年を対象に上級生（学修支援員）による個別指導を実施しました。</p> <p>（ウ）入学前教育に関する高大連携体制の構築 岩手県高等学校校長会との協定に基づき協議会を毎年開催し、高大連携による入学前教育について、高校・大学が継続して協議をしています。</p>	
⑮	シミュレーション教育環境の整備	<p>使用頻度が高く、経年劣化や故障が発生したシミュレーターについては、一部入替を計画通りに実施しました。</p> <p>また、臨床部門から要望があり購入を見送っていたシミュレーターについても、2025年度計画に盛り込んだものに関しては、計画通り購入を行いました。</p> <p>また、附属病院および内丸メディカルセンターの廃棄予定の医療機器・資器材のリユース（教育用としての転用）も積極的に進めるとともに、故障・修理対応についても自前での応急修理等を行うことでコストを圧縮し、老朽化した機器・備品の延命、消耗品の再利用等を行いながら、シミュレーション教育の質を担保しました。施設利用は年間延べ人数 10,672名（前年比 106%）、機器備品使用は 6,800名（前年比 81%）となりました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
⑯	医歯薬総合研究所：研究機器の戦略的な更新と共用推進、研究施設スタッフのスキルアップ、研究施設の利用者数増加のためのサービス内容の周知	<p>研究施設が保有する研究機器の更新については、国等の補助金活用が困難となる中、限られた資金でより効果的な更新を行うため、研究機器更新計画を策定し、計画的に更新を進めました。</p> <p>また、研究施設のスタッフに対しては、学内外の研修等を通じてスキルアップの機会を提供しました。</p> <p>生命科学研究技術支援センターでは、関連学会への参加を通じて最先端技術の習得に努めるとともに、動物研究センターでは、実験動物管理責任者に求められる基本的知識及び技術の習得を目的とした講演会を開催しました。</p> <p>さらに、生命科学研究技術支援センターにおいては、学内に加え、学外向けの受託解析サービスを開始し、サービス業務の拡大を図りました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
⑰	産学官連携を通じた研究成果の社会還元 の推進	<p>【ワンストップ相談窓口機能】 医療系総合大学としての最先端の研究成果を知的財産化するために、ワンストップ相談窓口としての機能を常設し、対応可能者を3名配置しました。</p> <p>【権利化支援と権利の維持管理機能】 知財専門家やTLO等技術移転機関と連携した発明の権利化支援と権利の維持管理を行うことで、適切な知財マネジメントを実施し、単独での国内特許出願を4件、共同での国内特許出願を3件、PCT国際出願を1件行いました。新たな特許の設定登録は8件あり、保有する82件の知的財産管理を実施しました。</p> <p>【社会連携・貢献機能】 企業等と9件の新規契約を締結し、共同研究を開始しました。 また、保有する知的財産を企業等へ13件（継続含む）実施許諾等し、研究成果を社会還元しました。</p> <p>【研究成果発信機能】 バイオテクノロジーにフォーカスを当てた展示会「BioJapan」に出展したほか、WEB上で研究シーズ集と技術移転可能な知的財産情報を継続して公表しました。 また、「第17回 D-Bio Digital'26」にシーズを公表し、創薬研究PJの育成と産学連携を図りました。</p> <p>【競争的資金(産学連携関係)への組織的な斡旋等獲得支援機能】 産学連携の初期の段階から外部機関の協力を得つつ研究に参画し、2025年度医学系研究支援プログラム(AMED)の採択に向けて研究者を支援しました。 また、参画するみちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォームが運営するみちのくギャップファンドへの申請を支援し、2件の採択へ繋げました。</p> <p>【外部機関との有機的な連携機能】 行政、産業クラスター等主催の連携会議や情報交換会への積極的な参画を通して有機的な連携を図り、産学連携の可能性を模索するとともに、情報収集に努めました。</p> <p>【人材育成機能】 個別発明相談会を企画し、研究者の知的財産に関する理解を深める機会を提供するとともに、発明の促進を図りました。 また、研究リスクマネジメントの一環として利益相反セミナーを開催し、教育研究の高度化に対応した教職員及び学生の育成を図りました。</p>	【イ】 一部達成 した

	事業計画	実施状況	達成状況
⑱	学生支援体制の推進	<p>2025年度も学生支援を推進すべく、学生支援方針に基づいた学生生活全般に関する情報等を周知するため、全学生及び関係する教職員へ「キャンパスライフガイド」の配布を行いました。</p> <p>また、障がい者差別解消法の一部改正による本学の障がい学生支援体制の整備に伴う学生支援方針・指針の見直しと周知を図るとともに、学生寮運営に関するユニット長との意見交換の場を設けるなどの取り組みを実施しました。</p>	【ア】 計画どおり達成した
⑲	矢巾キャンパスの教育環境の整備	<p>視聴覚機器について、故障等の不具合が年間を通じて多く発生しましたが、保守対応、修理対応を行い、既存機器を可能な限り活用する対応を実施しました。</p>	【ア】 計画どおり達成した
⑳	病理標本の火葬処分	<p>病理診断学講座にて適正な保有数を維持・管理するため、3年計画の1年目として、2025年度は計画通り処分を実施しました。</p>	【ア】 計画どおり達成した
㉑	入試制度改革の推進と戦略的な学生募集活動	<p>入試制度改革の推進と戦略的な学生募集活動を通じて、公平・公正な選抜の実現及び入学者の安定的な確保に取り組みました。</p> <p>入試制度改革では、アドミッション・ポリシー及び選抜方針の見直しを進め、各入試を実施要領に基づき確実に実施しました。</p> <p>さらに、国の方針に沿って主体性評価等を含む制度の設計・見直しを継続し、アドミッションオフィサーを含む体制の下で、評価基準の検討と制度運用の改善を図りました。</p> <p>学生募集活動においては、進学情報冊子や受験生専用サイトなどを活用し、本学の教育内容や特色を継続的に発信しました。</p> <p>また、全国の進学相談会へ参加するとともに、WEB会議システムを活用したオンライン相談会の実施体制を整え、受験生との接点拡充に努めました。</p> <p>オープンキャンパスは対面とオンラインを併用して開催し、学部説明や体験企画等を通じて受験生の理解促進と志願意欲の形成を図りました。</p> <p>インターネット出願システムについては、入力画面や案内文の改善に加え、マニュアル類の整備を行い、利便性及び業務効率の向上に取り組みました。</p>	【ア】 計画どおり達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
②	学生のキャリアビジョンを上げ、希望する就職を実現するための支援	<p>学生への迅速な情報提供を目的として求人検索システムを運用し、キャリア支援センターに届いた求人情報や就職関連情報を学生が即時に閲覧できる環境を整備しました。併せて、将来の進路に対する意識を早期に醸成するため、1年次からキャリア支援講演会やガイダンスを実施しました。</p> <p>さらに、履歴書対策講座やビジネスマナー講座などの実践的な支援を展開するとともに、企業研究セミナーを開催し、企業と学生が直接接触できる機会を提供するなど、学生一人ひとりの進路実現を後押ししました。</p> <p>インターンシップについては、企業と連携し、実施に関する情報提供を行うことで、学生が参加を検討しやすい環境づくりに努めました。加えて、支援事業の質向上を目的に、卒業予定者を対象としたアンケート調査を実施し、評価や要望を収集して次年度の計画に反映しました。</p> <p>また、薬学部卒業生の働き方や業務のやりがいを紹介する「薬学部OB・OGインタビューブック」を発行し、在校生のみならず中高生への進路広報にも活用しました。</p> <p>さらに、対面及びWEB形式の面接試験に対応するため、模擬面接の実施や個別相談、面接対策講座の開催等の支援を行い、学生が自信を持って選考に臨めるよう体制の整備を図りました。</p>	【ア】 計画どおり達成した
③	医療専門学校の入学生確保と国家試験合格率の高位維持	<p>在校生の出身高校を中心に高校訪問を実施し近況を伝えるとともに、進路希望調査の結果を聞くなどし、オープンキャンパスへの参加を促しました。</p> <p>また、各種進路相談会や説明会にも積極的に参加し、入学生の掘り起こしを行いました。夏には学祭とオープンキャンパスを同時開催し、高校生のみならず中学生や近隣住民へも歯科衛生士という職業について周知する活動を行いました。SNSを利用して情報発信を行い、本校の特性をアピールしました。</p> <p>岩手県歯科医師会と連携を図り活動をした結果、各種歯科医院から歯科助手の社会人入学生を増加させることに繋がりました。</p> <p>また、教員のきめ細やかなサポートにより、2025年度の国家試験も合格率100%を達成することが出来ました。</p>	【ア】 計画どおり達成した

3. 補助事業及び委託事業関係

	事業計画	実施状況	達成状況
①	日本災害医療 ロジスティクス研修	<p>2025年度の第11回研修では、岩手県内からの3名を含め、全国各地から39名の受講者、40名以上の講師・コントローラーが参加し、沿岸自治体等の協力の下、東日本大震災の被災地で実践に即した研修を実施し、円滑な情報収集・調整、資機材や支援物資の運搬、十分な生活環境の確保等、個人のロジスティクス能力向上及び多組織間の連携強化を目標に、災害時における医療チームの円滑な活動や被災者に対する効率的な支援活動の習得と災害時対応医療人の育成を図りました。</p> <p>また、アドバンスとして上記修了者を対象に、冬季災害時に積雪地域へ派遣された際、通常と遜色ない医療支援活動を行うスキルの習得を目的とした冬季研修を実施し、野外でのテント設営実習、車両整備実習、通信訓練等を体験するのみならず、冬季の災害医療活動の留意点や危惧される疾病の特徴を学ぶことで対応の幅を広げる取り組みを行いました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
②	災害時実践力強化 事業	<p>本事業は自然災害や大規模事故等の発生により要救助者・避難者が大量に発生した場合、発生直後から中長期にわたって適切に医療を提供するために、医療従事者、救助関係者、行政職員の密な連携及び災害医療に係る実践力の強化が必要となることから、これら災害医療・救急救助に携わる人材育成を行うべく、岩手県からの委託を受けて実施しています。</p> <p>2025年度は医療圏におけるBCP関連の内容も含め、次の研修会を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害医療コーディネーター研修 ・災害保健医療従事者研修 ・岩手DMAT隊員養成研修 ・広域災害医療情報システム(EMIS)操作研修 ・岩手災害医療ロジスティクス研修 ・岩手DMATロジスティクス研修 ・災害時病院行動指針策定研修 	【ア】 計画どおり 達成した
③	災害医療研修会	<p>全7回を開催し、講義動画を閲覧するオンデマンド研修、Zoomを用いたオンライン開催を織り交ぜ開催しました。</p> <p>参加者は延べ人数で252名となり2011年度の研修開始以来、最大の参加者数となりました。</p> <p>費用は共催の国立病院機構釜石病院より全てご負担いただきました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した

I 法人の概要

	事業計画	実施状況	達成状況
④	いわての師匠事業	2025年度は岩手県内3校から依頼があり、岩手町立沼宮内中学校（2学年39名）、北上市立上野中学校（2学年136名）、金ヶ崎町立三ヶ尻小学校（4～6学年54名）に対し、災害医療に関する講演と災害時に活用できる資器材の紹介・実習等を行い、実施後の報告書で好評価をいただきました。	【ア】 計画どおり 達成した
⑤	東北メディカル・メガバンク計画	<p>地域住民コホート調査では、詳細三次調査を約1,500名（2025年度）、第3段階（2021～2025年度）を通して約1万名に実施し、目標を達成するとともに多角的な追跡調査を実施しました。</p> <p>また、2023年度にリクルートを行ったリスク回付コホート参加者の約2,000名に対して脳梗塞の遺伝的リスクの回付を完了し、併せて健診情報の収集と郵送調査を実施しました。</p> <p>さらに、健康調査の結果回付や自治体への結果報告等、住民の健康維持・増進や地域の健康づくり施策を支援しました。</p> <p>バイオバンク構築では、試料・情報の分譲対象を拡大するとともに、大規模ゲノムコホート連携を推進しました。</p> <p>ゲノム・オミックス解析研究では、多因子疾患遺伝的リスクモデル、エピゲノム年齢、エピゲノム疾患マーカー等の研究開発を継続し、個別化予防・医療の実現に向けて取り組みました。</p> <p>第4段階の計画を策定し、情報統合と利活用促進を前提として仮想サーバの更新を行いました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
⑥	岩手県高度救命救急センター運営事業	<p>岩手県内唯一の高度救命救急センターとして、重症・重篤な救急患者を24時間体制で受け入れ、適切な医療を提供し、多職種連携による高度かつ専門的な治療体制を維持するとともに、関係医療機関との連携強化を通じて、重症患者の迅速な搬送及び受入体制の充実を図りました。</p> <p>これにより、2025年度は3,542件の救急車を受け入れ、救命率の向上及び地域医療体制の強化に寄与しました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
⑦	岩手県ドクターヘリ運航事業	<p>2025年度のドクターヘリ出動回数は327回にのぼり、救急現場において多数の傷病者の治療及び搬送を実施し、関係医療機関や消防機関との連携の下、安全かつ着実な運航を継続し、岩手県内における高度救急医療に貢献しました。</p> <p>2025年度は県内にとどまらず東北3県の関係機関と連携した症例検討会の実施や、県内消防機関との症例検討会を複数回開催するなど、多角的な視点から救急医療の質の向上及び連携体制の強化に取り組みました。</p> <p>また、未熟児・新生児の施設間搬送に係る院内訓練を実施し、関係職種間の連携強化及び搬送時対応能力の向上を図りました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
⑧	総合周産期母子医療センター運営事業	<p>県内外広域から重症妊産婦の受入れや緊急搬送に対して迅速かつ的確に対応し妊産婦死亡を防ぎ、新生児領域においても、極低出生体重児や重篤な疾患を有する新生児に対し、集中的かつ継続的な治療・管理を実施し、救命率の向上に努めました。</p> <p>関係医療機関との連携強化や院内多職種連携を推進し、いかなる時も母体搬送及び新生児搬送の円滑な受入体制を確保することで、岩手県のみならず北東北3県の周産期医療水準の向上に寄与しました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
⑨	岩手県こころのケアセンター事業	<p>岩手県沿岸自治体や医療機関等の関係機関と連携を図り、岩手県復興推進プランの中心課題に位置付けられ、被災住民や自治体職員への個別支援をはじめ、講演会等の人材育成・普及啓発活動等を中心に活動を行いました。</p> <p>発災から15年が経過し被災地のニーズが多様化・個別化し、さらに、新型コロナウイルス感染症の第5類に移行後、仮設集落から再建住宅、復興住宅等へ移動した先の支援や中長期的なニーズの出現や被災地支援者の疲弊などもあり、地域支援としての普及啓発や人材養成の支援、地域支援や地域の健康づくりの場と連携した個別対応案件が増加しています。</p> <p>2025年度は大船渡管内の林野火災による東日本大震災との二重被災の地域に対する支援を前年度から継続して支援し、自治体へ繋ぎました。本年度は国の第2期復興・創生期間の終了年度でしたが、国・県での事業の重要性の認識から、2026年度以降の第3期復興・創生期間にも継続の方向性が示されました。</p> <p>(ア) 被災者支援</p> <p>中央、各地域センターでの沿岸7拠点における相談室活動、被災市町村への訪問支援、個別訪問活動、個別事例へのスーパーバイズ、勤労者のメンタルヘルス相談や健康づくり事業（スクリーニングや地区健康相談等の保健事業での個別・電話対応等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援対応件数 : 11,673件 <p>(イ) 普及啓発活動</p> <p>被災住民を対象とした普及啓発活動、保健師等を対象とした人材育成活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発講演会等 : 88回、2,917人 ・人材育成等研修会 : 130件、4,816人 ・関係機関との連絡調整 : 3,156件 <p>(ウ) 大規模災害に対応できる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーバイズ : 2,868件 ・同行訪問 : 115件 ・支援者支援（個別対応） : 909件 	【ア】 計画どおり 達成した

I 法人の概要

	事業計画	実施状況	達成状況
⑩	いわてこどもケアセンター運営事業	<p>東日本大震災津波に被災した子どもに対するこころのケアを中長期的、安定的に行うため、岩手県から事業委託を受け、拠点施設となる「いわてこどもケアセンター」を矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟1階に設置し活動しています。</p> <p>医療・教育・福祉等関係機関と連携した専門的、継続的なケアに取り組み、2026年度の沿岸地域の延べ患者数は、1,485名でした。</p>	【ア】 計画どおり達成した

4. 診療関係

	事業計画	実施状況	達成状況
①	病院経営改善に向けた取り組みの推進	<p>2025年度においても、財務基盤の強化と持続可能な病院経営の実現に向け、事業計画で示した（ア）から（サ）の実効性のある財務改善の取り組みを継続的に推進しました。</p> <p>これらの取り組みの進捗及び改善状況については、病院運営会議ならびに経営戦略会議において毎月定期的に報告し、各指標の達成状況を共有するとともに、課題の抽出と対応策の検討を行いました。</p> <p>さらに、改善効果の継続的な検証と必要に応じた施策の見直しを実施することで財務改善の実効性を高め、これらの一連の取り組みにより、前年度と比較し、医療収入は大幅に増加し、安定的かつ効率的な病院運営の推進に寄与しました。</p> <p>財政改善の取り組みの中でも2025年度に新たに実施した取り組みとして、7月に一般病床を27床削減、9月末にはさらに23床を削減し、合計50床を削減することにより、厚生労働省病床適正化緊急支援事業費補助金を獲得しました。</p> <p>この病床削減に向け、「オーバースリー削減プロジェクト」を立上げ、DPCⅢ日、Ⅲ日越えとなっている患者さんの早期退院を促すよう取り組みを継続し、平均在院日数の大幅な削減ならびに2026年度効率性係数の向上を達成しました。</p> <p>また、附属病院における印刷コスト削減計画として、5階事務エリア等の複合機のうち、特にランニングコストが高い機器6台を更新しました。病棟・外来卓上複合機の更新については、財政上の理由から2025年度の更新を見送り、より投資効果の高い機種に変更の上、2026年度に機器を更新することとして計画を一部変更しています。</p>	【ア】 計画どおり達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
②	医療の質向上に向けた取り組みの推進	<p>(ア) 病院機能評価の更新審査受審に関する取り組み</p> <p>特定機能病院の承認要件である病院機能評価の更新審査に向け計画的に準備を進め、2025年度においては、院内体制の整備、自己評価の実施、必要書類の作成、各部門との調整等を着実にを行い、当初の行動計画に沿って所要の取り組みを完了しました。</p> <p>2026年10月に予定されている本審査に向けた準備は計画どおり進捗しており、円滑な受審に向けた体制を確立しました。</p> <p>(イ) 医療の質を示す指標（QI）に関する取り組み</p> <p>医療の質向上に向け、医療の質を管理する「医療の質管理部」を新設するとともに、医療クオリティマネージャーの養成を計画どおり3名（看護師・薬剤師・事務員）を対象に実施しました。</p> <p>また、院内各部署及び日本病院会のQIプロジェクトの指標を基に当院独自のQIを策定し、指標に基づく評価・改善のサイクル（PDCA）を実践する体制を構築しました。</p> <p>さらに、医療の質・安全に関する取り組みとして、感染対策の観点から抗菌薬使用前の培養検査の徹底に係る見直しを行うとともに、抗菌薬の適正使用に向けた運用の再検討を進めるなど、PDCAサイクルを通じた診療プロセスの改善を図り、医療の質向上を着実に推進しています。</p>	【ア】 計画どおり達成した
③	医師の時間外労働規制に対する取り組みの推進	<p>出退勤管理システムによる管理について、年間の時間外・休日労働時間数を把握し、達成状況の確認を行いました。</p> <p>また、年間の時間外・休日労働時間数960時間を超える特例水準医師を適正に把握するとともに、順次、医師労働時間短縮計画を見直し、適時反映しました。</p> <p>タスクシフト／シェアに関し、2024年度に採用した診療看護師（NP：Nurse Practitioner）及び救急救命士による業務負担軽減に向けた取り組みを推進し、運用の整備を行いました。</p> <p>医師事務作業補助者（MA）については、各種電子カルテ代行入力や診断書下書等の業務（外来診察室業務・病棟業務・診断書作成支援業務）に従事しております。</p> <p>また、新たに臨床工学技士による手術室におけるスコープオペレーター業務への介入開始など、タスクシフトの取り組みを拡充しました。</p> <p>AIやICTの活用や医療DXを通じた医師の業務負担軽減と教育・研究に充てる時間の創出を目的として、取り組み内容の精査及び計画の立案を行いました。</p> <p>医師の派遣状況に係る調査を実施し、各診療科における医師派遣の実態を把握しました。</p>	【ア】 計画どおり達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
④	医療情報システムの一部機能追加・部分改修	<p>(ア) 救急時医療情報閲覧機能対応 「救命救急入院料」の施設基準要件であったことから、経過措置期限前の2025年3月31日に本機能を追加しました。 救急センター、救急医局、救急病棟等の電子カルテ端末の一部を二要素認証対応とし、当該電子カルテ端末では、患者のマイナンバーカード確認により過去のレセプト情報に基づく医療情報が閲覧できるようになりました。</p> <p>(イ) 血液ガス分析装置電子カルテ連携 病棟で行った血液ガスの検査結果について、2025年11月より連携を開始しました。従前では紙原本のスキヤンや手入力による運用となっておりますが、測定結果を検査システム経由で電子カルテに取り込むことにより、転記間違いの危険性を回避し、検査結果の時系列表示の見読性向上に貢献することができました。</p> <p>(ウ) ナーシングカート用バッテリー 当該バッテリーを20台分購入し、劣化しているバッテリーを搭載したナーシングカートから優先的に交換を行いました。電子カルテノート端末の稼働時間を確保し、病棟業務への影響抑制に貢献することができました。</p>	【ア】 計画どおり達成した
⑤	管理栄養士増員による増収計画	<p>2025年度は12月より東8B病棟、3月より西8B病棟にそれぞれ1名の専従配置を行い、入院栄養管理体制加算の算定を開始し、専従配置となった病棟では、管理栄養士による患者病室への訪室及び患者の観察（体調変化や嚥下機能）の頻度が増加し、きめ細やかな食事オーダーの変更に対応可能となりました。</p> <p>専従配置により、食事オーダー入力の一部を看護師から管理栄養士にタスクシフトできたほか、患者満足度の向上にもつながっています。</p> <p>さらには、医師や病棟看護師が管理栄養士に経腸栄養を含む栄養管理についての相談をタイムリーに行えるようになりました。</p>	【イ】 一部達成した

5. 管理運営関係

	事業計画	実施状況	達成状況
①	ガバナンス・コードに基づく法人運営の推進	<p>2025年7月28日付で法人の自主行動規範であるガバナンス・コードを改定し、実効性をより高めるために2025年10月時点で実施状況の点検を行いました。その結果は機関会議等で確認の上「2025年度ガバナンス・コードの実施状況に関する報告書」として取りまとめ、ホームページで公表しました。</p> <p>また、中期計画の着実な達成に向けて、10月時点の取組・進捗状況を中間検証し、その結果は機関会議等で確認の上、財政状況や社会情勢等を踏まえて計画の一部見直しを行い、2026年度事業計画にも反映させることで事業の適切な推進に努めました。</p>	【ア】 計画どおり達成した
②	事業活動資金の確保に向けた募金活動の展開	<p>(ア) 学術振興資金募金活動</p> <p>教育、研究、診療活動の経常的資金を確保するため、ホームページ等を通じて支援の拡大を図りました。</p> <p>また、手続き面で寄付者に負担が少ない環境の整備を目指し、引き続き検討を進めることとしています。</p> <p>顕彰活動では、WEB芳名録と岩手医科大学報で芳名を紹介し、寄付者の顕彰に努めました。</p> <p>(イ) その他</p> <p>新たに岩手医科大学歯学部支援基金を通じた寄付の受け入れを行い、WEB芳名録と岩手医科大学報で芳名を紹介し、寄付者の顕彰に努めました。</p>	【イ】 一部達成した
③	デジタル技術を活用した事務局の業務効率化の推進 (ワークフローやRPA等)	<p>ワークフローシステムの活用により、2025年度は1年間で約20,000件の決裁及び申請書が回付されました。書類の移動など、承認や申請にかかる時間の削減や業務の効率化ができています。</p> <p>また、RPA (Robotic Process Automation) や議事録作成ソフトは継続的に活用されており、安定稼働しているため、処理時間の削減ができています。新規でRPAや議事録作成ソフトを活用した業務も増え、事務局内の更なる業務効率化ができました。</p>	【ア】 計画どおり達成した
④	勤怠管理システムの導入	<p>医師・歯科医師（臨床系教育職員）の勤怠管理システムによる労務管理が構築され、稼働が安定したことから、統合基礎講座、医歯薬総合研究所、薬学部、看護学部等の未稼働部署・職種への展開準備を進め、2026年6月からの順次稼働を目指し、それぞれへの展開スケジュール及びマニュアル作成、操作方法周知の準備を進めました。2026年の稼働拡大を以って、法人全体の勤怠管理システムによる労務管理が完成を迎える予定です。</p> <p>なお、特例水準の管理、適正な健康確保措置の実施を促進する中で、該当医師の勤務間インターバルの実施及び代償休息の取得は十分とは言えないことから、引き続き取り組みを進めます。</p>	【イ】 一部達成した

I 法人の概要

	事業計画	実施状況	達成状況
⑤	中長期財務計画の策定	経営再建計画に基づき 2026 年度予算を策定しました。 また、将来的な大規模計画や設備の更新計画等を踏まえた借入計画の策定や、資金収支の推移を経営戦略会議に報告するなど、継続的に財政把握を行いました。	【ア】 計画どおり達成した
⑥	適切な予算の策定と予算統制	予算編成については、予算と実績との乖離や予算の圧縮率が部署予算に反映されていなかったことから、部署予算にも圧縮率が反映されるよう予算を策定しました。 予算達成状況の把握については、各部署に対し四半期ごとに予算計画と実績との照合を行いました。	【ア】 計画どおり達成した
⑦	財務状況のモニタリングと分析	資金収支の推移を経営戦略会議に報告するなど、継続的に財政把握を行いました。	【ア】 計画どおり達成した
⑧	固定資産の適正な管理及び有効活用の推進	(ア) 不動産の有効活用 賃貸借契約物件のうち、現行賃料決定時点から地価が著しく上昇している物件について、賃料改定交渉を行いました。未着手の物件についても、次年度に交渉を実施します。 また、所有不動産の活用方策について積極的に協議を重ね、検討しました。次年度も引き続き協議を継続します。 (イ) 物品有効活用体制 物品の再利用活動について定期的にメール等で周知を図ったことにより当活動が浸透し、339 点の機器備品等の再利用が成立したほか、消耗品関係についても不要品を積極的に再利用する意識が根付いてきています。	【ア】 計画どおり達成した
⑨	情報セキュリティ対策	(ア) 情報セキュリティに対するリテラシー向上、BCP 対策 情報セキュリティ強化の取り組みとして、情報セキュリティリテラシーの向上を目的に、新入職員及び新入生に対して対面形式による講習会を実施したほか、職員に対しても UID アカウント交付時に e ラーニングの受講を行い、継続的な教育を行いました。 8～9 月には重要度の高いテーマを中心とした e ラーニング形式の講習会を実施し、教員受講率 100%を達成しました。 また、年始に多発した CEO 詐欺メールについては、学内への注意喚起を行い、インシデントの未然防止に努めました。 (イ) ウイルスや迷惑メールによるサイバー攻撃の防止・予防 サイバー攻撃の防止・予防の観点から、ウイルス対策ソフト及び迷惑メールフィルターの適切な運用管理を継続して実施しました。特に、CEO 詐欺メールが多発した際には、迷惑メールフィルターの設定を強化することで、不審メールの学内到達数の低減を図りました。	【ア】 計画どおり達成した

	事業計画	実施状況	達成状況
⑩	内丸メディカルセンターの移転・統合に伴う内丸サーバ室の移設検討	<p>7号館が閉鎖エリアになると仮定し、現サーバ室の機能を移設・整備するための計画を立て、現地調査に基づいた費用算出を行いました。</p> <p>また、サーバ室機能の移設は、ネットワーク機器の移設のみならず、電源工事や光ファイバーの再整備が必要となるため、移設に掛かる見積の取得を行いました。</p> <p>移設しない場合の建物維持経費と比較し、移設しない方が安価となることから、内丸サーバ室は移設しない方針とし、理事会の承認を得ました。</p>	【ア】 計画どおり達成した
⑪	ネットワーク及びサーバの持続可能な保守体制の構築	<p>ネットワークの保守・構築業務について、現担当者から後任への技術移転を実施しました。併せて、課題となっていた内丸メディカルセンターのネットワーク構成についても詳細な引継ぎを行い、運用管理体制の安定化を図りました。</p> <p>また、撤去された機器（引き上げ機）の物理的清掃及び設定情報の初期化（クリーン化）を行い、資産の再整備を行いました。</p> <p>これにより、緊急時に即時対応可能な予備機を確保・整理し、トラブル発生時の復旧迅速化に向けた体制を整えました。</p> <p>加えて、ネットワーク障害発生の都度、保守業者に対し、対応フローの改善を継続的に要請しました。現時点では抜本的な改善に至っていないものの、引き続きサービスの質向上に向けた働きかけを強化していく予定です。</p>	【イ】 一部達成した
⑫	標準的な内部監査手続きの徹底による法人運営の効率化に資する内部監査の実施	<p>2025年度内部監査計画に基づき、内部監査要領等に定められた監査プロセスに沿って監査を実施しました。</p> <p>全体として概ね良好でしたが、いくつかの課題等がみられたことから、その改善方策について監査対象部署と意見交換を実施し、解決に向けた取り組みについて提言等を行い、実施可能な部分から対応することとしています。併せて、内部監査に関する基本事項の周知や有効性についても啓蒙活動を行いました。</p>	【ア】 計画どおり達成した

6. 施設設備関係

	事業計画	実施状況	達成状況
①	内丸地区活用検討の推進	<p>2025年度は、盛岡市において「内丸地区将来ビジョン」の具現化に向けて、地区の一体的な再整備による土地の有効利用や景観の創出、防災機能の強化等を図るため、基本的な整備方針として内丸プラン（内丸地区再整備基本計画）が策定されました。</p> <p>本学も内丸プラン策定に向け開催された内丸地区再整備検討懇話会に参画し、将来性のあるよりよいプランに向けた提言等を行いました。</p> <p>その他、内丸地区跡地活用計画においては、岩手県、盛岡市、盛岡商工会議所、本学の四者で各者の状況について継続した情報共有を行っており、今後の跡地利用計画については盛岡市で進める内丸プランの検討状況を踏まえながら、引き続き検討を行っていくこととしました。</p>	【ア】 計画どおり 達成した
②	矢巾キャンパス 図書館災害防止対策 (図書落下)	2025年度は50段での実施計画としていましたが、大学の財政状況により実施を見送りました。	【ウ】 達成 しなかった

9. 主な行事等

【令和7年】

- 4月1日 新入職員等辞令交付式（矢巾キャンパス大堀記念講堂他）
- 4月5日 岩手医科大学医療専門学校入学式（内丸キャンパス歯学部4階講堂）
歯科衛生学科33名
- 4月9日 岩手医科大学入学式（トーサイクラシックホール岩手）
大学院：医学研究科博士課程20名・修士課程5名、
歯学研究科博士課程6名、薬学研究科博士課程1名
学部：医学部130名、歯学部38名、薬学部41名、看護学部78名、
医学部編入学生1名、歯学部編入学生4名
- 4月7日 高度看護研修センター認定看護師教育課程・特定行為教育課程開講式（附属病院10階研修室）
- 4月26日 歯学部第1回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階第1講義室他）
- 5月9日 薬学部第5学年白衣授与式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 5月9日 災害時病院行動指針策定研修（災害時地域医療支援教育センター・オンライン開催）
- 5月15日 岩手医科大学大学院学位記授与式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室）
医学研究科（甲）11名
- 5月24日 岩手医科大学医療専門学校第1回オープンキャンパス
- 5月26日 災害時病院行動指針策定研修（岩手県立釜石病院）
- 6月2日 災害時病院行動指針策定研修（災害時地域医療支援教育センター・オンライン開催）
- 6月4日 新任教員向け全学教育推進機構FD講習会（オンデマンド配信）
- 6月7日 第53回白寿会総会（岩手県産業会館）
- 6月9日 災害医療研修会ベーシックコース（災害時地域医療支援教育センター・オンライン開催）
- 6月10日 永年勤続者表彰式（勤続30年23名、勤続20年39名）（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 6月10日～12日 薬学部学業奨励奨学金奨学生表彰式【2～4、6学年】（矢巾キャンパス）
- 6月12日 広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 6月13日 災害時病院行動指針策定研修（大船渡市防災センター）
- 6月23日 災害時病院行動指針策定研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 6月25日 看護学部第3学年宣誓式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 6月28日 第88回解剖体慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
岩手医科大学医療専門学校第2回オープンキャンパス
- 7月1日 災害医療研修会ベーシックコース（災害時地域医療支援教育センター）
- 7月7日 災害時における業務継続計画（BCP）訓練等研修会（災害時地域医療支援教育センター）
- 7月15日 歯学部学業奨励奨学金表彰【5学年】（内丸キャンパス）
- 7月18日 歯学部学業奨励奨学金表彰【6学年】（内丸キャンパス）
- 7月19日 岩手医科大学医療専門学校第3回オープンキャンパス・2025学校祭
- 7月23日 歯学部学業奨励奨学金表彰【2～4学年】（矢巾キャンパス）
- 7月26日～27日 岩手医科大学オープンキャンパス2025
- 7月28日 教養教育センター学生支援に関するFD・SD研修会（矢巾キャンパス西2-B実習室）

I 法人の概要

- 7月30日～8月1日 第43回市民公開講座（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 8月2日 第1回看護学部FD・SD研修会（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟4階4-A講義室）
- 8月4日～8月22日 大学院医学研究科・歯学研究科・薬学研究科合同教員研修会（動画配信）
- 8月20日 大学院医学研究科入学試験【秋入学】
- 9月6日 大学院薬学研究科前期入学試験
岩手医科大学医療専門学校第4回オープンキャンパス
- 9月9日・16日・26日 矢巾町セカンドアカデミー（矢巾キャンパス内）
- 9月10日 第1回岩手医工・産学連携フォーラム（共催：岩手大学・TOLIC）
- 9月16日 岩手医科大学大学院学位記授与式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
医学研究科博士課程（甲）1名・修士課程1名
岩手医科大学秋季卒業式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
薬学部23名
- 9月20日～21日 附属病院がんセンターPR活動（岩手県産業文化センター）
- 9月27日 第68回岩手恵眼会総会（内丸キャンパス歯学部4階講堂）
- 9月28日～30日 日本災害医療ロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 10月1日 岩手医科大学大学院秋季入学式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室）
医学研究科博士課程4名
- 10月4日 岩手医科大学医療専門学校第5回オープンキャンパス
- 10月5日 附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センターPR活動（陸前高田市・奇跡の一本松ホール）
- 10月9日 歯学部第2回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講堂・オンライン開催）
- 10月16日 第58回動物慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 10月24日 災害医療研修会アドバンストコース（災害時地域医療支援教育センター）
- 10月25日 大学院歯学研究科前期入学試験
岩手医科大学医療専門学校推薦入学試験・総合型1期選抜試験
- 10月26日 岩手医科大学入学者選抜：総合型選抜（歯・看護学部）
- 11月1日 第2回看護学部FD・SD研修会（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟4階4-A講義室）
- 11月2日～3日 医大祭（矢巾キャンパス）
- 11月3日 健康フェスタ（やはぱーく）
- 11月10日～11日 薬学部企業研究セミナー（矢巾キャンパス東3-A, B実習室）
- 11月15日 第18回岩手県がんフォーラム（岩手教育会館）
- 11月17日～18日 岩手DMAT隊員養成研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 11月19日 大学院医学研究科入学試験【第1回】
薬学部学業奨励奨学金奨学生表彰式【5学年】（矢巾キャンパス）
- 11月22日 岩手医科大学入学者選抜：学校推薦型選抜（医学部）、総合型選抜（医学部）
岩手医科大学医療専門学校一般1期・社会人1期・総合型2期選抜試験
- 11月23日 岩手医科大学入学者選抜：学校推薦型選抜（歯・薬・看護学部）、
社会人入学者選抜（薬・看護学部）、帰国子女入学者選抜（薬学部）、
編入学者選抜前期（歯・薬学部）、編入学者選抜（看護学部）
- 11月26日 第31回全学教育推進機構FD講習会（シラバス作成）（オンデマンド配信）

- 12月 5日 災害医療研修会アドバンストコース（災害時地域医療支援教育センター）
- 12月 7日 災害医療コーディネーター養成研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 12月 15日 岩手災害医療ロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 12月 16日 岩手 DMAT ロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 12月 17日 歯学部第3回教育研修会（60周年記念館9階第1講義室・オンライン開催）
- 【令和8年】**
- 1月 5日 理事長年頭挨拶（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室からオンライン配信）
埼玉医科大学、産業医科大学との研究推進連携（連携協定）
- 1月 14日 災害保健医療従事者研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 1月 21日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜一次（医学部）
岩手医科大学医療専門学校臨床実習受入式（医療専門学校第1講義室）
- 1月 23日 歯学部第4回教育研修会（オンデマンド開催）
- 1月 28日 岩手県高等学校長協会との高大連携会議
- 1月 30日～1月 31日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜二次（医学部）
- 2月 6日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜前期（歯・薬・看護学部）、
大学入学共通テスト利用選抜前期（歯学部）、医学部入学試験利用選抜前期（歯学部）、
編入学者選抜後期（薬学部）
- 2月 7日 岩手医科大学医療専門学校一般2期・社会人2期・総合型3期選抜試験
- 2月 12日 災害医療支援冬季対策：災害医療ロジスティクス研修 冬季版（国立岩手山青少年交流の家）
- 2月 13日 大学院医学研究科入学試験【第2回】
- 2月 16日 岩手医科大学入学者選抜：学士編入学者選抜一次、転部入学者選抜一次（医学部）
- 2月 17日 災害医療研修会 CSM コース（災害時地域医療支援教育センター）
- 2月 21日 大学院薬学研究科後期入学試験
- 2月 26日 教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス東1-A講義室）
- 3月 2日 岩手医科大学入学者選抜：学士編入学者選抜二次、転部入学者選抜二次（医学部）
- 3月 6日 岩手医科大学大学院学位記授与式（トーサイクラシックホール岩手）
医学研究科博士課程（甲）5名・修士課程9名、
歯学研究科博士課程（甲）10名・（乙）1名、
薬学研究科博士課程（乙）2名
岩手医科大学卒業式（トーサイクラシックホール岩手）
医学部136名、歯学部46名、薬学部30名、看護学部90名
- 3月 7日 岩手医科大学医療専門学校一般3期・社会人3期選抜試験
- 3月 9日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜後期（歯・薬・看護学部）、
大学入学共通テスト利用選抜後期（歯学部）、医学部入学試験利用選抜後期（歯学部）、
編入学者選抜後期（歯学部）
- 3月 10日 岩手医科大学医療専門学校卒業式（内丸キャンパス歯学部4階講堂）
歯科衛生学科23名
- 3月 17日 大学院歯学研究科後期入学試験
- 3月 23日 高度看護研修センター認定看護師教育課程・特定行為教育課程修了式（附属病院10階研修室）

I 法人の概要

- 3月24日 第33回全学教育推進機構FD講習会（ティーチング・ポートフォリオ活用による授業改善・ICT促進）（オンデマンド配信）
- 3月25日 歯学部第5回教育研修会（60周年記念館9階第1講義室・オンライン開催）
第3回看護学部FD・SD研修会（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟4階4-A講義室）
- 3月27日 令和8年度歯学部第5学年Student Dentist認定証授与式（内丸キャンパス歯学部4階講堂）
- 3月31日 名誉教授称号授与式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室）
定年退職者等辞令交付式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）

10. 土地の増減

(1) 土地

減少			△2.40 m²	0 円
[内訳]	1	地積更正に伴う面積減少（盛岡市本町通三丁目）	△2.40 m ²	0 円

11. 建物等の増減

(1) 建物附属設備

増加			16,207,618 円
[内訳]	1	医歯薬総合研究所改編に伴う西研究棟改修工事	12,931,030 円
	2	その他工事	3,276,588 円

(2) 構築物

増加			223,483,673 円
[内訳]	1	附属病院敷地内患者駐車場等増設工事	223,483,673 円
減少			△35,795,612 円
[内訳]	1	矢巾キャンパス敷地内太陽光発電設備設置に伴う緑地の除却	△5,917,516 円
	2	附属病院敷地内駐車場改修工事に伴う緑地の除却	△17,318,935 円
	3	附属病院敷地内駐車場改修工事に伴う駐輪場の除却	△12,559,161 円

12. 取得した主な機器備品等

(1) 医学部	150,746,088円				
1	生理機能検査データ管理システムサーバー	1式	12	カラー複合機 Apeos C7071	1式
2	ガスクロマトグラフ質量分析計	1式	13	ティシュー・テック TEC6 エンベディング・モジュール	1式
3	汎用超音波画像診断装置 LOGIQ E10	1式	14	CPMユニット レッグ用	1式
4	呼気ガス代謝モニター Cpex-1	1式	15	カラー複合機 Apeos C5571	4式
5	視機能評価機アイモvifa	1式		他	
6	CO2インキュベーター	1式	(7) 岩手県高度救命救急センター	87,483,157円	
7	スーパーライザーEX	1式	1	ドレーゲル全身麻酔装置 Atlanシリーズ	1式
8	HEARTROID PCI モデルセット	1式	2	Power-PRO 2	1式
9	バイオハザード対策用キャビネット	1式	3	統合型ゲートウェイサーバプログラム	1式
10	ラボフィット	1式	4	ABL800FLEXシステム	1式
11	多本架冷却遠心機	1式	5	デフィブリレータ EMS-1052 カルジオライフEMS	1式
12	ノンフロン超低温フリーザー	1式	6	ヘモスフィア アドバンスドモニタリングプラットフォーム	1式
	他		7	TPX/コア2 電動マイクロドリルシステム	1式
(2) 歯学部	23,434,031円		8	INVOS モニタリングシステム	1式
1	レーザー光源プロジェクター	1式	9	ホフマン3創外固定システム	1式
2	カラーA3複合機	1式	10	食道向け超音波診断用プローブ S8-3t	1式
3	Class II 安全キャビネット	1式	11	医用テレメータ WEP-1000シリーズ	2式
	他		12	個人用透析用水作製装置 TW-S	1式
(3) 薬学部	5,918,915円		13	医用画像解析ソフトウェア Neuro-Vascular Assist	1式
1	超純水製造装置	1式	14	スリーププロファイラーPSG2	1式
	他		15	BarkeyプラスマサームV	1式
(4) 看護学部	6,690,475円		16	血行動態モニタリングシステムLiDCOrapid V3	1式
1	多職種連携ハイブリッドシミュレータ SCENARIO	1式	17	メイフィールド・三点固定器	1式
	他		18	汎用超音波画像診断装置Vscan Air	1式
(5) 教養教育センター	6,229,133円			他	
1	生理実習システム	1式	(8) 附属内丸メディカルセンター(医科)	23,150,930円	
	他		1	連続自動照射レーザーシステム	1式
(6) 附属病院(医科)	150,487,846円		2	スティールコ DS610/1 2S	1式
1	周産期管理システムSerio	1式	3	超音波診断装置 KUS330	1式
2	コンパクトクリニカルフローサイトメーターDxFLEX	1式	4	スティールコ ID300/1	1式
3	診断用X線装置 RADspeed Pro	1式		他	
4	超音波画像診断装置 EPIQ/Affiniti CVx	1式	(9) 附属病院(歯科)	2,309,582円	
5	ハミングビュー	1式	1	オッセオセット300	1式
6	ステラッドNX	1式		他	
7	エルベVIO3/APC	1式	(10) 附属内丸メディカルセンター(歯科)	1,352,912円	
8	医用テレメータ WEP-1000シリーズ	1式	1	口腔内細菌カウンタ	1式
9	CryoPlus保管システム	1式		他	
10	Vallylab FT10 エネルギープラットフォーム	1式	(11) 法人	4,993,786円	
11	採血業務支援システム Assist More	1式	1	ノア	1式
12	スライドガラスプリンタ ESPO II	1式		他	

総額 462,796,855円の機器備品等を取得しました。

13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等

(単位:円)

(1) 私立大学経常費補助金	1,479,280,000
1 私立大学等経常費補助金(日本私立学校振興・共済事業団)	1,479,280,000
(2) その他の国庫補助金	982,080,000
1 医療研究開発推進事業費補助金(日本医療研究開発機構)	358,670,000
2 医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金(矢巾)(厚生労働省)	285,250,000
3 高等教育の修学支援制度授業料等減免(日本私立学校振興・共済事業団)	171,280,000
4 企業主導型保育事業費補助金(内閣府)	124,750,000
5 臨床研修費等補助金(医師)(厚生労働省)	23,720,000
6 医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金(内丸)(厚生労働省)	9,750,000
7 臨床研修費等補助金(歯科医師)(厚生労働省)	6,700,000
8 医療施設運営費等補助金(特定行為研修の組織定着化支援事業)(厚生労働省)	1,960,000
(3) 地方公共団体補助金	1,620,390,000
1 岩手県ドクターヘリ運航事業費補助金(岩手県)	349,080,000
2 高度救命救急センター運営費補助金(岩手県)	256,190,000
3 地域医療勤務環境改善体制整備特別事業費補助金(岩手県)	246,580,000
4 病床適正化緊急支援事業費補助金(岩手県)	205,200,000
5 医学部地域枠に係る教育研究費(岩手県)	141,560,000
6 周産期母子医療センター運営事業費補助金(岩手県)	65,070,000
7 医療局医学教育研究助成金(岩手県)	60,000,000
8 勤務環境改善医師派遣等推進事業費補助金(岩手県)	53,700,000
9 社会福祉施設及び医療施設等物価高騰緊急対策支援金(矢巾)(岩手県)	40,420,000
10 医療機関生産性向上・職場環境整備等事業費補助金(矢巾)(岩手県)	40,000,000
11 病床機能再編支援給付金(岩手県)	29,640,000
12 小児中核病院支援事業費補助金(岩手県)	24,000,000
13 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金(岩手県)	18,590,000
14 地域医療研究費補助金(岩手県)	18,000,000
15 矢巾町福祉施設等物価高騰対応重点支援金(矢巾町)	10,000,000
16 私立専修学校専門課程授業料等減免補助金(岩手県)	8,670,000
17 病院群輪番制事業費補助金(盛岡市)	6,460,000
18 公的病院等運営事業補助金(小児医療事業)(盛岡市)	6,190,000
19 災害医療人材育成緊急強化事業費補助金(岩手県)	5,000,000
20 院内保育所運営事業費補助金(岩手県)	4,260,000
21 循環器病対策推進費補助金(岩手県)	3,840,000
22 公的病院等運営事業補助金(救急医療事業)(盛岡市)	3,630,000
23 地域自殺対策強化事業費補助金(岩手県)	3,500,000
24 認定看護師等育成支援事業費補助金(岩手県)	2,340,000
25 医療機関生産性向上・職場環境整備等事業費補助金(内丸)(岩手県)	2,000,000
26 小児救急付添入院環境整備事業費補助金(岩手県)	1,920,000
27 新人看護職員研修事業費補助金(岩手県)	1,890,000
28 認定看護師養成研修事業費補助金(岩手県)	1,760,000
29 私立専修学校運営費補助金(岩手県)	1,750,000
30 女性医師就労環境改善事業補助金(岩手県)	1,450,000
31 病院救急車活用促進事業費補助金(岩手県)	1,450,000
32 産科医等確保支援事業費補助金(岩手県)	1,450,000
33 社会福祉施設及び医療施設等物価高騰緊急対策支援金(内丸)(岩手県)	1,300,000
34 周産期電子カルテ運用事業費補助金(岩手県)	1,160,000
35 盛岡市医療機関物価高騰対策緊急支援金(盛岡市)	1,130,000
36 新生児医療担当医確保支援事業費補助金(岩手県)	700,000

I 法人の概要

37	結核健康診断費補助金(岩手県・盛岡市)	240,000
38	防災訓練等参加支援事業費補助金(岩手県)	110,000
39	盛岡市私立保育所等光熱費支援給付金(盛岡市)	60,000
40	盛岡市私立保育所等副食費物価高騰対策支援金(盛岡市)	50,000
41	市民公開講座事業費補助金(矢巾町)	50,000
(4)	学術研究振興資金	300,000
1	若手研究者奨励金(日本私立学校振興・共済事業団)	300,000
(5)	受託事業収入(公的機関受託収入)	530,770,000
1	岩手県こころのケアセンター等設置運營業務委託費(岩手県)	342,490,000
2	いわてこどもケアセンター設置運営等事業委託費(岩手県)	51,830,000
3	精神科救急医療施設常時対応施設事業委託費(岩手県)	16,590,000
4	こどもの心の診療ネットワーク事業委託費(岩手県)	15,640,000
5	岩手県難病医療連絡協議会設置事業委託費(岩手県)	13,870,000
6	精神科救急医療施設身体合併症対応施設事業委託費(岩手県)	12,660,000
7	岩手県周産期救急搬送コーディネーター事業委託費(岩手県)	11,050,000
8	岩手県地域医療支援センター運營業務委託費(岩手県)	10,450,000
9	岩手県基幹型認知症疾患医療センター運営事業委託費(岩手県)	8,420,000
10	岩手県肝疾患相談センター運営事業委託費(岩手県)	8,180,000
11	岩手県心身障がい者(児)歯科診療事業委託費(岩手県)	6,200,000
12	不妊専門相談センター事業委託費(岩手県・盛岡市)	5,970,000
13	岩手県災害時実践力強化業務委託費(岩手県)	5,910,000
14	小児医療遠隔支援業務委託費(岩手県)	4,530,000
15	青森県量子科学センターの装置による量子ビームを活用した人材育成に係る補助業務委託費(青森県)	4,430,000
16	岩手県若年性認知症支援コーディネーター設置事業委託費(岩手県)	4,090,000
17	肝炎医療コーディネーター養成研修事業委託費(岩手県)	2,150,000
18	岩手県予防接種センター機能推進事業委託費(岩手県)	2,060,000
19	周産期医療関係者病院内妊産婦救急対応研修事業委託費(岩手県)	1,350,000
20	アレルギー疾患相談窓口等業務委託費(岩手県)	730,000
21	岩手県在宅難病患者一時入院事業委託費(岩手県)	540,000
22	災害時における業務継続計画(BCP)訓練等研修会実施業務委託費(岩手県)	500,000
23	エイズ診療に係る医療・介護従事者等研修事業委託費(岩手県)	490,000
24	エイズ治療中核拠点病院カウンセラー設置事業委託費(岩手県)	270,000
25	一時保護を要する児童の医療機関への一時保護委託費(岩手県)	220,000
26	先天性代謝異常等検査事業相談業務委託費(岩手県)	150,000
(6)	施設設備補助金	105,650,000
1	高度救命救急センター設備整備費補助金(岩手県)	50,000,000
2	保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金(厚生労働省)	14,740,000
3	周産期医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	11,730,000
4	小児医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	11,690,000
5	ドクターヘリ設備整備費補助金(岩手県)	11,050,000
6	解剖・死亡時画像診断等設備整備事業費補助金(岩手県)	6,070,000
7	災害拠点病院設備整備事業費補助金(岩手県)	370,000

II 人事の概要

1. 主な役職人事

新任

副学長、医歯薬総合研究所長、研究開発・共創センター長
 医学部長
 全学教育推進機構長
 附属薬用植物園副園長
 学生部長
 学生副部長
 学生副部長
 図書館長
 図書館副館長
 総合情報センター長
 総合情報センター副センター長
 キャリア支援センター長
 健康管理センター長
 いわて東北メディカル・メガバンク機構長
 医学部副学部長
 医学部副学部長
 医学部副学部長
 全学教育推進機構副機構長
 研究開発・共創センター副センター長
 医歯薬総合研究所副所長
 医歯薬総合研究所副所長
 医歯薬総合研究所副所長

仲 哲 治 (令和7年4月1日付)
 下 沖 収 (令和7年4月1日付)
 松 政 正 俊 (令和7年4月1日付)
 辻 原 哲 也 (令和7年4月1日付)
 木 村 英 二 (令和7年4月1日付)
 石 河 太 知 (令和7年4月1日付)
 杉 山 晶 規 (令和7年4月1日付)
 原 田 英 光 (令和7年4月1日付)
 中 隲 克 己 (令和7年4月1日付)
 櫻 庭 実 (令和7年4月1日付)
 高 橋 史 朗 (令和7年4月1日付)
 遠 藤 龍 人 (令和7年4月1日付)
 川 田 一 郎 (令和7年4月1日付)
 丹 野 高 三 (令和7年4月1日付)
 平 英 一 (令和7年5月1日付)
 前 田 哲 也 (令和7年5月1日付)
 前 沢 千 早 (令和7年5月1日付)
 高 田 亮 (令和7年7月1日付)
 西 谷 直 之 (令和7年8月1日付)
 小 原 航 (令和7年10月15日付)
 石 崎 明 (令和7年10月15日付)
 野 口 拓 也 (令和7年10月15日付)

再任

歯学部副学部長
 附属薬用植物園長
 学生副部長
 いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長
 いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長
 いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長
 附属病院長
 附属病院副院長
 附属病院副院長
 附属病院副院長
 附属病院副院長
 附属病院副院長
 附属病院副院長
 附属病院副院長
 附属病院副院長
 附属内丸メディカルセンター長
 附属内丸メディカルセンター副センター長
 附属内丸メディカルセンター副センター長
 附属内丸メディカルセンター副センター長 (歯科担当)

八重柏 隆 (令和7年4月1日付)
 田 浦 太 志 (令和7年4月1日付)
 高 橋 史 朗 (令和7年4月1日付)
 旭 浩 一 (令和7年4月1日付)
 石 垣 泰 (令和7年4月1日付)
 清 水 厚 志 (令和7年4月1日付)
 森 野 禎 浩 (令和7年4月1日付)
 鈴 木 健 二 (令和7年4月1日付)
 櫻 庭 実 (令和7年4月1日付)
 馬 場 長 (令和7年4月1日付)
 石 垣 泰 (令和7年4月1日付)
 肥 田 圭 介 (令和7年4月1日付)
 眞 瀬 智 彦 (令和7年4月1日付)
 新 田 浩 幸 (令和7年4月1日付)
 佐 藤 悦 子 (令和7年4月1日付)
 下 沖 収 (令和7年4月1日付)
 西 島 嗣 生 (令和7年4月1日付)
 房 崎 哲 也 (令和7年4月1日付)
 山 田 浩 之 (令和7年4月1日付)

2. 主な教職員人事

昇任・任用・異動

医学部内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	教授	藤 本	穰 (令和7年4月1日付)
医学部緩和医療学科	教授	木 村	祐 輔 (令和7年4月1日付)
統合基礎講座医学教育学講座医学教育学分野	教授	高 田	亮 (令和7年4月1日付)
歯学部歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野	教授	今 一	裕 (令和7年4月1日付)
歯学部歯科保存学講座歯周療法学分野	教授	佐々木	大 輔 (令和7年4月1日付)
薬学部病態薬理学講座臨床医化学分野	教授	野 口	拓 也 (令和7年4月1日付)
薬学部生物薬学講座機能生化学分野	教授	關 谷	瑞 樹 (令和7年10月1日付)
統合基礎講座医学教育学講座教育支援システム開発分野	教授	前 沢	千 早 (令和7年11月1日付)
医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	教授	中 西	啓 (令和7年12月15日付)
医学部整形外科講座	教授	角 谷	賢一朗 (令和8年1月1日付)
医学部産婦人科学講座	特任教授	庄 子	忠 宏 (令和7年12月1日付)

退職

薬学部生物薬学講座機能生化学分野	教授	中 西	真 弓 (令和7年8月31日付)
薬学部病態薬理学講座薬剤治療学分野	教授	三 部	篤 (令和7年11月12日付)
医歯薬総合研究所基盤の研究部門	教授	清 水	厚 志 (令和7年12月10日付)
医学部内科学講座消化器内科分野	教授	松 本	主 之 (令和8年3月31日付)
医学部放射線医学講座	教授	吉 岡	邦 浩 (令和8年3月31日付)
医学部麻酔学講座	教授	鈴 木	健 二 (令和8年3月31日付)
統合基礎講座生化学講座分子医化学分野	教授	古 山	和 道 (令和8年3月31日付)
統合基礎講座病理学講座機能病態学分野	教授	片 岡	竜 貴 (令和8年3月31日付)
歯学部口腔医学講座予防歯科学分野	教授	岸	光 男 (令和8年3月31日付)
薬学部臨床薬学講座臨床薬剤学分野	教授	工 藤	賢 三 (令和8年3月31日付)
薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分野	教授	高 橋	寛 (令和8年3月31日付)

3. 教職員総数

教職員総数は、年度当初3,018名、年度間の採用者数は276名（内4月1日付採用者236名）、退職者数は310名でした。

III 学事の概要

1. 入学者、卒業（修了）者数

学校	学部・学科等	入学定員	入学者※1	卒業（修了）者	学生数※2
岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	24名 ※3	15名	105名
	大学院医学研究科 修士課程	10名	5名	10名	15名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	6名	10名	24名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	1名	0名	3名
	医学部	130名	130名	136名	806名
	歯学部	73名	38名	46名	240名
	薬学部	50名	41名	53名 ※5	240名
医療専門学校	看護学部	90名 ※4	78名	90名	351名
	歯科衛生学科	40名	33名	23名	80名

※1 第1学年入学者

※4 第3学年への編入学定員（5名）は含めない。

※2 令和7年5月1日現在

※5 秋季卒業生（23名）を含む。

※3 秋季入学者（4名）を含む。

2. 学位授与者数

大学院研究科	博士課程修了者 (甲)	論文提出者 (乙)	修士課程修了者
医学研究科	15名	0名	10名
歯学研究科	10名	1名	
薬学研究科	0名	2名	

3. 文部科学省科学研究費助成事業

198件

239,446,156円

(1) 科学研究費補助金（学外分担）

①学術変革領域研究（学術研究支援基盤形成）

清水厚志（医歯薬総合研究所 基盤的研究部門）

1件

2,470,000円

②基盤研究（A）

清水厚志（医歯薬総合研究所 基盤的研究部門）

大桃秀樹（医歯薬総合研究所 基盤的研究部門）

小巻翔平（医歯薬総合研究所 基盤的研究部門）

中隋克己（生理学講座統合生理学分野（医））

長島広相（医学部 内科学講座呼吸器内科分野）

黒坂大次郎（医学部 眼科学講座）

山下典生（医歯薬総合研究所 基盤的研究部門）

7件

3,380,000円

130,000円

65,000円

65,000円

1,560,000円

910,000円

260,000円

390,000円

(2) 学術研究助成基金助成金（代表）

①基盤研究（B）

望月圭（生理学講座統合生理学分野（医））

八木淳子（医学部 神経精神科学講座）

清水厚志（医歯薬総合研究所 基盤的研究部門）

原田英光（解剖学講座発生生物・再生医学分野（歯））

野口拓也（薬学部 病態薬理学講座臨床医化学分野）

藤原俊朗（薬学部 病態薬理学講座分子細胞薬理学分野）

小巻翔平（医歯薬総合研究所 基盤的研究部門）

角谷賢一朗（医学部 整形外科学講座）

8件

30,728,374円

3,120,000円

2,444,000円

3,187,561円

3,380,000円

5,330,000円

3,900,000円

9,230,000円

136,813円

Ⅲ 学事の概要

②基盤研究 (C)		101件	131,924,000円
高梨	信之 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		130,000円
松政	正俊 (教養教育センター 生物学科)		910,000円
加藤	廉平 (医学部 泌尿器科学講座)		910,000円
山田	浩之 (歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)		910,000円
佐藤	幸子 (薬理学講座情報伝達医学分野 (医))		1,690,000円
足立	礼孝 (解剖学講座人体発生学分野 (医))		1,430,000円
吉岡	望 (解剖学講座機能形態学分野 (歯))		1,560,000円
刑部	光正 (医学部 病理診断学講座)		260,000円
成田	啓之 (解剖学講座人体発生学分野 (医))		1,430,000円
前田	哲也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		520,000円
上野	育子 (医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)		780,000円
石田	大 (医学部 内科学講座循環器内科分野)		845,000円
柿坂	啓介 (医学部 内科学講座消化器内科分野)		390,000円
外館	玄一朗 (医学部 小児科学講座)		1,950,000円
山下	雅大 (医学部 内科学講座呼吸器内科分野)		910,000円
村木	靖 (微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))		1,690,000円
鈴木	悠地 (医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)		910,000円
片桐	弘勝 (医学部 外科学講座)		1,170,000円
辻	龍典 (医学部 心臓血管外科学講座)		65,000円
金	一 (医学部 心臓血管外科学講座)		910,000円
中村	正帆 (薬理学講座病態制御学分野 (歯))		650,000円
板持	広明 (医学部 臨床腫瘍学講座)		1,560,000円
池田	怜吉 (医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)		910,000円
橋爪	公平 (医学部 眼科学講座)		1,560,000円
根本	孝幸 (微生物学講座分子微生物学分野 (歯))		1,560,000円
石崎	明 (生化学講座細胞情報科学分野 (歯))		1,170,000円
入江	太朗 (病理学講座病態解析学分野 (歯))		65,000円
佐藤	泰生 (病理学講座病態解析学分野 (歯))		260,000円
星	勲 (歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)		1,170,000円
下沖	収 (医学部 総合診療医学講座)		1,300,000円
大塚	弥生 (いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)		1,170,000円
吉川	和寛 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		1,300,000円
須藤	洋一 (いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)		1,690,000円
藤田	友嗣 (医学部 救急・災害医学講座)		1,040,000円
蛎崎	奈津子 (看護学部 成育看護学講座)		1,170,000円
岩渕	光子 (看護学部 地域包括ケア講座)		260,000円
田鎖	愛理 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		780,000円
佐々木	章 (医学部 外科学講座)		1,300,000円
熊谷	章子 (法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 (歯))		1,040,000円
松田	豪 (医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)		1,170,000円
小林	有美子 (医学部 臨床遺伝学科)		1,170,000円
藤澤	美穂 (教養教育センター 人間科学科心理学・行動科学分野)		780,000円
東尾	浩典 (教養教育センター 化学科)		1,690,000円
阪本	泰光 (薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野)		650,000円
田浦	太志 (薬学部 薬科学講座天然物化学分野)		1,560,000円
松崎	駿 (病理学講座機能病態学分野 (医))		1,300,000円
片岡	竜貴 (病理学講座機能病態学分野 (医))		1,300,000円
仲	哲治 (医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)		1,690,000円
西谷	直之 (薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野)		1,404,000円
阿保	亜紀子 (医歯薬総合研究所 創薬・医療機器開発部門)		1,040,000円
真柳	平 (医歯薬総合研究所 創薬・医療機器開発部門)		1,560,000円
別府	高明 (医学部 脳神経外科学講座)		1,300,000円
駒切	洋 (生理学講座統合生理学分野 (医))		975,000円

細野祐司	(医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	1,430,000円
鈴木亘	(医学部 生化学講座分子医化学分野)	1,300,000円
長谷川豊	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	1,690,000円
枝木大治	(医学部 心臓血管外科学講座)	65,000円
西村行秀	(医学部 リハビリテーション医学講座)	390,000円
千田光平	(医学部 岩手県高度救命救急センター)	1,690,000円
小原航	(医学部 泌尿器科学講座)	3,380,000円
馬場長	(医学部 産婦人科学講座)	1,105,000円
大津圭史	(解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))	1,170,000円
帖佐直幸	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	1,170,000円
事崎由佳	(衛生学公衆衛生学講座 (医))	130,000円
大間々真一	(医学部 総合診療医学講座)	650,000円
大澤正樹	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	780,000円
遠藤太	(看護学部 地域包括ケア講座)	1,690,000円
中崎克己	(生理学講座統合生理学分野 (医))	1,300,000円
鈴木享	(生理学講座統合生理学分野 (医))	390,000円
關谷瑞樹	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)	1,690,000円
鈴木喜郎	(生理学講座統合生理学分野 (医))	1,690,000円
岩谷岳	(医学部 臨床腫瘍学講座)	1,820,000円
世良田聡	(医歯薬総合研究所 創薬・医療機器開発部門)	1,430,000円
藤本穰	(医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	2,080,000円
田村明生	(医学部 放射線医学講座)	2,210,000円
石垣泰	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	2,210,000円
遠藤史隆	(医学部 臨床腫瘍学講座)	1,820,000円
板橋亮	(医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	2,860,000円
赤松洋祐	(医学部 脳神経外科学講座)	1,430,000円
及川里百合	(解剖学講座人体発生学分野 (医))	1,430,000円
森太志	(医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)	2,145,000円
利部正裕	(医学部 産婦人科学講座)	910,000円
今一裕	(歯学部 歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	2,080,000円
横田潤	(歯学部 歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	1,430,000円
黒瀬雅之	(生理学講座統合生理学分野 (歯))	1,170,000円
畠山航	(歯学部 歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	1,950,000円
小林琢也	(歯学部 歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	3,120,000円
佐々木大輔	(歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野)	2,080,000円
大桃秀樹	(医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)	2,340,000円
永井雅人	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 臨床研究・疫学研究部門)	1,560,000円
赤坂憲	(衛生学公衆衛生学講座 (医))	1,950,000円
小野保	(教養教育センター 情報科学科医学統計情報学分野)	1,690,000円
野里同	(看護学部 地域包括ケア講座)	1,690,000円
伊藤奈央	(看護学部 共通基盤看護学講座)	2,405,000円
菊池佑弥	(看護学部 地域包括ケア講座)	1,820,000円
高橋淳美	(看護学部 成育看護学講座)	1,170,000円
西里真澄	(看護学部 成育看護学講座)	780,000円
高橋亮	(看護学部 成育看護学講座)	390,000円
鈴木信	(医学部 外科学講座)	1,430,000円
梅邑晃	(医学部 外科学講座)	1,820,000円
川田一郎	(医学部 内科学講座呼吸器内科分野)	2,080,000円
③若手研究		38件 52,260,000円
赤坂博	(医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	130,000円
那須崇人	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	520,000円
金城伸祐	(医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	130,000円
飯泉由美	(教養教育センター 人間科学科心理学・行動科学分野)	1,040,000円
美辺詩織	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	1,040,000円

Ⅲ 学事の概要

鎌田麻美	(医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	1,040,000円
藤本健太郎	(医学部 脳神経外科学講座)	780,000円
鎌田啓文	(医学部 皮膚科学講座)	1,300,000円
及川伸一	(医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	1,300,000円
深澤翔太	(歯学部 歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	260,000円
横田聖司	(生化学講座細胞情報科学分野(歯))	1,170,000円
二宮亮	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	780,000円
伊藤謙	(病理学講座機能病態学分野(医))	1,170,000円
米澤穂波	(薬学部 医療薬科学講座衛生化学分野)	1,300,000円
二階春香	(医学部 外科学講座)	1,560,000円
前田峻大	(医学部 内科学講座血液腫瘍内科分野)	1,040,000円
開勇人	(医歯薬総合研究所 創薬・医療機器開発部門)	1,040,000円
藤澤良介	(医学部 岩手県高度救命救急センター)	1,690,000円
家子義朗	(医学部 放射線腫瘍学科)	2,080,000円
阿部珠美	(医学部 内科学講座消化器内科分野)	260,000円
鈴木彰子	(医学部 内科学講座消化器内科分野)	1,560,000円
佐々木教之	(医学部 外科学講座)	1,300,000円
佐藤翔	(医学部 産婦人科学講座)	1,170,000円
浅沼莞奈	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,170,000円
菊池調	(医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	1,040,000円
安藤太郎	(医学部 外科学講座)	1,170,000円
山屋昌平	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	2,860,000円
菊地晃司	(医学部 外科学講座)	1,430,000円
瀬川武紀	(医学部 外科学講座)	1,690,000円
八畝一貴	(医学部 岩手県高度救命救急センター)	1,040,000円
三善健矢	(医学部 脳神経外科学講座)	2,210,000円
塩見叡	(医学部 泌尿器科学講座)	1,430,000円
五十嵐大樹	(医学部 泌尿器科学講座)	4,550,000円
阿部正和	(医学部 泌尿器科学講座)	2,210,000円
池崎晶二郎	(解剖学講座発生物・再生医学分野(歯))	1,560,000円
島田崇史	(歯学部 歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	2,470,000円
星美貴	(歯学部 歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	1,950,000円
下田陽樹	(衛生学公衆衛生学講座(医))	1,820,000円
④研究活動スタート支援		1件 1,300,000円
森川剛	(法科学講座法医学分野(医))	1,300,000円
⑤挑戦的研究(萌芽)		1件 3,250,000円
野口拓也	(薬学部 病態薬理学講座臨床医化学分野)	3,250,000円
(4) 学術研究助成基金助成金(学外分担)		
①基盤研究(B)		14件 10,142,782円
江尻正一	(教養教育センター 情報科学科数学分野)	260,000円
丹野高三	(衛生学公衆衛生学講座(医))	130,000円
清水厚志	(医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)	13,000円
小林琢也	(歯学部 歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	130,000円
黒瀬雅之	(生理学講座統合生理学分野(歯))	780,000円
大桃秀樹	(医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)	2,927,782円
齊藤元	(医学部 呼吸器外科学講座)	130,000円
大塚耕太郎	(医学部 神経精神科学講座)	260,000円
石垣泰	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	91,000円
八代諭	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	91,000円
大桃秀樹	(医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)	4,290,000円
前田哲也	(医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	130,000円
馬場長	(医学部 産婦人科学講座)	130,000円
須藤洋一	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	780,000円

②基盤研究 (C)	25件	3,601,000円
川 井 忠 (歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)		39,000円
高 橋 都 (医学部)		65,000円
關 谷 瑞 樹 (薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)		260,000円
吉 岡 芳 親 (医歯薬総合研究所)		65,000円
飯 泉 由 美 (教養教育センター 人間科学科心理学・行動科学分野)		26,000円
小野寺 直 人 (医学部 臨床検査医学講座)		104,000円
菖蒲澤 幸 子 (看護学部 共通基盤看護学講座)		78,000円
高 橋 亮 (看護学部 成育看護学講座)		650,000円
高 橋 亮 (看護学部 成育看護学講座)		13,000円
伊 東 佐由美 (看護学部 成育看護学講座)		13,000円
田 中 良 一 (歯学部 口腔顎顔面再建学講座歯科放射線学分野)		260,000円
吉 田 潤 (教養教育センター 化学科)		195,000円
赤 坂 憲 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		130,000円
馬 場 長 (医学部 産婦人科学講座)		65,000円
阪 本 泰 光 (薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野)		39,000円
石 崎 明 (生化学講座細胞情報科学分野 (歯))		130,000円
原 田 英 光 (解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))		520,000円
石 崎 明 (生化学講座細胞情報科学分野 (歯))		65,000円
齊 藤 桂 子 (歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)		130,000円
高 梨 信 之 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		65,000円
旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		65,000円
山 下 典 生 (医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)		65,000円
野 口 拓 也 (薬学部 病態薬理学講座臨床医化学分野)		39,000円
島 崎 伸 子 (歯学部 歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野)		130,000円
佐々木 亮 平 (教養教育センター 体育学分野)		390,000円
③挑戦的研究(開拓)	1件	260,000円
片 桐 克 則 (医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)		260,000円
④国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	1件	130,000円
足 立 礼 孝 (解剖学講座人体発生学分野 (医))		130,000円

4. 厚生労働科学研究費補助金

23件 12,482,000円

(1) 分担

①循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

小笠原 邦 昭 (学長)	200,000円
丹 野 高 三 (衛生学公衆衛生学講座 (医))	750,000円
丹 野 高 三 (衛生学公衆衛生学講座 (医))	700,000円
板 橋 亮 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	200,000円

②難治性疾患政策研究事業

松 本 主 之 (医学部 内科学講座消化器内科分野)	500,000円
松 本 主 之 (医学部 内科学講座消化器内科分野)	200,000円
石 垣 泰 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	200,000円
旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	300,000円
小 林 有美子 (医学部 臨床遺伝学科)	1,200,000円
中 西 啓 (医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	300,000円
古 山 和 道 (生化学講座分子医化学分野 (医))	500,000円
山 下 典 生 (医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)	700,000円

③腎疾患政策研究事業

旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	450,000円
旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	400,000円

Ⅲ 学事の概要

④肝炎等克服政策研究事業		
宮坂昭生 (医学部 内科学講座消化器内科分野)		300,000円
宮坂昭生 (医学部 内科学講座消化器内科分野)		1,000,000円
⑤障害者政策総合研究事業		
八木淳子 (医学部 神経精神科学講座)		1,432,000円
中西啓 (医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)		500,000円
⑥地域医療基盤開発推進研究事業		
赤坂真奈美 (医学部 小児科学講座)		150,000円
蛸崎奈津子 (看護学部 成育看護学講座)		1,000,000円
⑦長寿科学政策研究事業		
西村行秀 (医学部 リハビリテーション医学講座)		500,000円
西山一成 (医学部 リハビリテーション医学講座)		200,000円
⑧認知症政策研究事業		
前田哲也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		800,000円

5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 15件 121,165,000円

(1) 委託事業 (代表)

①革新的がん医療実用化研究事業		
仲哲治 (医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)		81,900,000円
西塚哲 (医歯薬総合研究所 創薬・医療機器開発部門)		17,810,000円
②ゲノム医療実現バイオバンク活用プログラム		
中尾元基 (薬理学講座情報伝達医学分野 (医))		390,000円

(2) 委託事業 (分担)

①革新的がん医療実用化研究事業		
丹野高三 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		2,600,000円
片桐克則 (医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)		1,040,000円
②認知症研究開発事業		
前田哲也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		8,000,000円
前田哲也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		1,950,000円
高橋健太 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		650,000円
③肝炎等克服実用化研究事業 (肝炎等克服緊急対策研究事業)		
黒田英克 (医学部 内科学講座消化器内科分野)		845,000円
④難治性疾患実用化研究事業		
前田哲也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		390,000円
⑤橋渡し研究プログラム橋渡し研究支援プログラム		
小原航 (医学部 泌尿器科学講座)		2,600,000円
⑥臨床研究・治験推進研究事業		
山下典生 (医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)		1,950,000円
⑦循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業		
須藤洋一 (医歯薬総合研究所 基盤的研究部門)		130,000円
⑧成育疾患克服等総合研究事業		
美辺詩織 (いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)		715,000円
⑨新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業		
高橋史朗 (教養教育センター 情報科学科医学統計情報学分野)		195,000円

6. その他公的機関受託研究等

13件

43,769,561円

(1) 国立研究開発法人科学技術振興機構 (分担)

①ムーンショット型研究開発事業

長谷川 豊 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野) 23,400,000円

②大学発新産業創出基金事業

西谷 直之 (薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野) 603,590円

(2) 独立行政法人日本学術振興会 (二国間交流事業 (韓国との共同研究 (NRF))、代表)

原田 英光 (解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯)) 1,200,000円

(3) 国立がん研究センター研究開発費 (分担)

①多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究

丹野 高三 (衛生学公衆衛生学講座 (医)) 4,500,000円

②ゲノム情報の疫学研究への応用を目指した連携研究基盤の構築と運用

清水 厚志 (医歯薬総合研究所 基盤的研究部門) 1,000,000円

(4) 環境総合推進 (自然共生サイトの生物多様性と構成種の生態に関する観測研究・基盤データ集積、分担)

松政 正俊 (教養教育センター 生物学科) 1,950,000円

(5) 厚生労働省 (慢性疼痛診療システム均てん化等事業、分担)

大畑 光彦 (医学部 麻酔学講座) 1,200,000円

(6) 青森県 (青森県量子科学センター委託研究、代表)

小林 正和 (医学部 脳神経外科学講座) 2,999,880円

(7) 公益財団法人JKA (自転車等機械振興事業、代表)

島田 崇志 (歯学部 歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野) 2,000,000円

(8) 岩手県 (代表)

①いわて戦略的知的財産活用DX・GX推進事業

阪本 泰光 (薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野) 1,489,021円

②いわて戦略的DX・GX等研究開発推進事業 (シーズ育成ステージ)

寺島 潤 (薬学部 薬科学講座薬物代謝動態学分野) 941,070円

(9) 公益財団法人いきいき岩手支援財団 (いわて保健福祉基金、代表)

黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯)) 1,816,000円

(10) さんりく基金 (さんりく基金助成事業 (調査研究事業タイプI)、代表)

中村 啓哉 (病理学講座機能病態学分野 (医)) 670,000円

Ⅲ 学事の概要

7. 解剖体慰霊祭および解剖体数

令和7年6月28日（土）に矢巾キャンパス大堀記念講堂で解剖体慰霊祭を行いました。

- (1) 慰霊祭の対象者数：病理解剖14霊、正常解剖58霊、実践的手術手技向上研修3霊
- (2) 本年度の解剖体数：病理解剖12体、正常解剖62体、実践的手術手技向上研修13体

8. 白寿会員数

- (1) 会員数（生存者）
令和7年度入会者75人（総会員数4,252人）
- (2) 献体者数
令和7年度献体者72人（総献体者数2,168人）

9. 海外出張者数（延べ人数）

医学部	80人
歯学部	30人
薬学部	4人
看護学部	2人
教養教育センター	3人

10. 国家試験成績

学校	学部・学科等	国家試験	受験者 (新卒) [既卒]	合格者 (新卒) [既卒]	合格率 (新卒) [既卒]	全国平均 (新卒) [既卒]
岩手医科大学	医学部	第120回医師国家試験 実施：令和8年2月7日～8日 発表：令和8年3月16日	149名 (136名) [13名]	130名 (126名) [4名]	87.2% (92.6%) [30.8%]	91.6% (94.7%) [54.6%]
		歯学部	第119回歯科医師国家試験 実施：令和8年1月31日・2月1日 発表：令和8年3月16日	77名 (46名) [31名]	35名 (30名) [5名]	45.5% (65.2%) (16.1%)
	薬学部	第111回薬剤師国家試験 実施：令和8年2月21日～22日 発表：令和8年3月25日	98名 (30名) [68名]	46名 (24名) [22名]	46.9% (80.0%) [32.4%]	68.5% (86.3%) [41.3%]
	看護学部	第115回看護師国家試験 実施：令和8年2月15日 発表：令和8年3月24日	91名 (89名) [2名]	89名 (87名) [2名]	97.8% (97.7%) [100.0%]	88.3% (94.1%) [32.3%]
		第112回保健師国家試験 実施：令和8年2月13日 発表：令和8年3月24日	21名 (20名) [1名]	18名 (18名) [0名]	85.7% (90.0%) [0%]	87.1% (89.9%) [30.7%]
		第109回助産師国家試験 実施：令和8年2月12日 発表：令和8年3月24日	10名 (10名) [-]	10名 (10名) [-]	100.0% (100.0%) [-]	99.7% (99.8%) [92.9%]
	岩手医科大学 医療専門学校	歯科衛生学科	第35回歯科衛生士国家試験 実施：令和8年3月1日 発表：令和8年3月26日	23名 (23名) [0名]	23名 (23名) [0名]	100.0% (100.0%) [0.0%]

IV 附属病院の概要

1. 患者数

区 分			患者数 (人)		一日平均 (人)		
			令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	
入院患者	附属病院	附属病院 (医科)	280,480	270,400	768	741	
		高度救命救急センター	16,642	11,340	46	31	
		歯科	2,572	3,490	7	10	
		小 計	299,694	285,230	821	782	
	附属内丸メ ディカルセ ンター	附属内丸メディカルセンター (医科)	7,758	7,584	21	21	
		歯科医療センター	66	44	0	0	
合 計			307,518	292,858	842	803	
外来患者	附属病院	附属病院 (医科)	新来	7,863	7,435	30	28
			再来	163,422	168,823	617	637
			計	171,285	176,258	647	665
		高度救命救急センター		2,093	1,935	8	7
		歯科	新来	1,931	1,958	7	7
			再来	7,528	6,618	28	25
	計		9,459	8,576	35	32	
	小 計		182,837	186,769	690	704	
	附属内丸メ ディカルセ ンター	附属内丸メディカルセン ター (医科)	新来	16,438	13,854	62	52
			再来	225,806	201,809	852	762
			計	242,244	215,663	914	814
		歯科医療センター	新来	5,094	4,962	19	19
			再来	77,481	71,528	292	270
			計	82,575	76,490	311	289
小 計		324,819	292,153	1,225	1,103		
合 計			507,656	478,922	1,915	1,807	

- ・ 入院患者数は在院患者数 (24時現在の患者数) に退院患者数を加算した延べ患者数である。
- ・ 外来患者数には入院者外来数は含まない。

2. 救急患者取扱件数

区 分		令和6年度	令和7年度
附属病院	附属病院 (医科)	6,005	5,001
	高度救命救急センター	3,775	3,930
	歯科	355	306
	合 計	10,135	9,237

3. 分娩件数

令和6年度	令和7年度
285	293

4. アイバンク登録者数

登録者 17人 (11,041人) 角膜提供者 9人 (1,163人) 被角膜移植者 2眼 (1,423眼) () 内は総数

5. 手術件数および死亡者数

区 分		手術件数		死亡者数	
		令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
附属病院	附属病院 (医科)	7,871	8,219	618	589
	高度救命救急センター	459	318	63	61
	歯科	373	436	0	0
	小 計	8,703	8,973	681	650
附属内丸メ ディカル センター	附属内丸メディカルセンター (医科)	1,953	1,760	1	2
	歯科医療センター	0	0	0	0
	小 計	1,953	1,760	1	2
合 計		10,656	10,733	682	652

V 財務の概要

令和7年度は、学生収容定員未充足に伴う学納金収入の減少や世界情勢の変化に起因したエネルギー価格高騰、物価の上昇などが本学の財務状況に大きな影響を及ぼしました。このような厳しい状況下において、本学は、教育・研究・医療の質向上を目指し、各事業を推進しました。

また、補助金や研究費等の外部資金を積極的に獲得したほか、矢巾附属病院と内丸メディカルセンターそれぞれの病院機能を最大限に活かし、経営基盤の更なる強化に努めました。

事業活動収入合計は、前年度より約26億円増加の587億3,588万円を計上しました。主な増加要因は、医療収入が前年度より約19億円増加の443億4,522万円、経常費等補助金が前年度より約9億円増加の40億8,205万円を計上したことが挙げられます。

事業活動支出合計は、前年度より約20億円増加の627億652万円を計上しました。主な増加要因は、医薬品費が前年度より約7億円増加の117億2,918万円、医療材料費が前年より約1億円増加の87億2,439万円を計上したことなどが挙げられます。

以上により、当期決算における、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より約6億円増加の△39億7,064万円となり、学術研究基金関連の基本金組入額△20万円を計上したことにより、当年度収支差額は△39億7,084万円となりました。

1. 事業活動収支

(1) 事業活動収入

事業活動収入の合計額587億3,588万円は、前年度比25億7,494万円（4.6%）増加、予算比では32億7,740万円（5.3%）下回りました。

区分別では、教育活動収入合計584億9,556万円は前年度比26億144万円（4.7%）増加、教育活動外収入合計8,574万円は前年度比6,101万円（246.7%）増加、特別収入合計1億5,458万円は前年度比8,751万円（36.2%）減少しました。

①学生生徒等納付金69億7,479万円は、前年度比7,210万円（1.0%）減少しました。

主な減少要因は、学生数の減少によるものです。

各学部等の内訳は次のとおりです。

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部	医療専門学校	計
授業料	20億6,508万円	6億1,487万円	2億9,834万円	3億5,033万円	4,000万円	33億6,862万円
入学金	4億7,250万円	3,000万円	1,663万円	2,600万円	825万円	5億5,338万円
実験実習費	4億300万円	—	4,161万円	5,763万円	2,000万円	5億2,224万円
教育充実費	10億5,900万円	2億3,680万円	—	—	—	12億9,580万円
施設整備費	8億1,500万円	2億4,030万円	9,170万円	8,775万円	—	12億3,475万円
計	48億1,458万円	11億2,197万円	4億4,828万円	5億2,171万円	6,825万円	69億7,479万円

②医療収入 443 億 4,522 万円は、前年度比 18 億 9,757 万円（4.5%）増加しました。

附属病院（医科）と内丸メディカルセンター（医科）を合計した医科部門の医療収入は、前年度比 19 億 2 万円（4.6%）の増加、附属病院（歯科）と内丸メディカルセンター（歯科）を合計した歯科部門の医療収入は、前年度比 246 万円（0.2%）の減少となりました。

病院別の医療収入内訳は、次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
入院収入	287 億 6,164 万円	2 億 5,835 万円	5 億 4,807 万円	153 万円	295 億 6,959 万円
外来収入	84 億 1,454 万円	5,866 万円	53 億 2,061 万円	7 億 2,659 万円	145 億 2,040 万円
その他の医療収入	2 億 1,773 万円	133 万円	3,505 万円	112 万円	2 億 5,523 万円
計	373 億 9,391 万円	3 億 1,834 万円	59 億 373 万円	7 億 2,924 万円	443 億 4,522 万円

③補助金合計額は 41 億 8,769 万円で、前年度比 8 億 2,391 万円（24.5%）増加しました。

区分別では、教育活動収入の経常費等補助金 40 億 8,205 万円は前年度比 9 億 1,960 万円（29.1%）増加しました。また、国庫補助金として私立大学等経常費補助金 14 億 7,928 万円、医療研究開発推進事業費補助金（日本医療研究開発機構）3 億 5,867 万円等、地方公共団体補助金として岩手県ドクターヘリ運航事業費補助金 3 億 4,908 万円、高度救命救急センター運営費補助金 2 億 5,619 万円等がありました。

特別収入の施設設備補助金 1 億 565 万円は、前年度比 9,570 万円（47.5%）減少し、高度救命救急センター設備整備費補助金 5,000 万円、保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金 1,474 万円等がありました。

（2）事業活動支出

事業活動支出の合計額 627 億 652 万円は、前年度比 19 億 9,404 万円（3.3%）増加、予算比では 16 億 9,597 万円（2.6%）下回りました。

区分別では、教育活動支出合計 610 億 3,274 万円は前年度比 4 億 7,845 万円（0.8%）増加、特別支出合計 16 億 1,902 万円は前年度比 15 億 2,041 万円（1541.7%）増加しました。

教育活動外支出は、5,475 万円を計上しました。

①人件費 230 億 9,281 万円は、前年度比 2 億 4,816 万円（1.1%）減少しました。

給与、賞与及び所定福利費の合計 202 億 445 万円は、前年度比 15 億 5,716 万円（7.2%）減少し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計 15 億 893 万円は、前年度比 3,313 万円（2.2%）減少しました。賞与引当金繰入額として、13 億 3,664 万円を計上しました。

②医療経費 206 億 8,629 万円は、前年度比 7 億 9,111 万円（4.0%）増加しました。

医薬品費は、前年度比 6 億 5,528 万円（5.9%）の増加、医療材料費は 1 億 3,606 万円（1.6%）の増加、給食材料費は 23 万円（0.1%）減少しました。

医療収入に対する医療経費割合は 46.6%となり、前年度より 0.3%減少しました。

病院別の医療経費内訳は次のとおりです。

V 財務の概要

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
医薬品費	89億9,221万円	1,041万円	27億2,158万円	498万円	117億2,918万円
(対医療収入比)	(24.1%)	(3.3%)	(46.2%)	(0.7%)	(26.5%)
医療材料費	79億8,001万円	542万円	5億9,281万円	1億4,615万円	87億2,439万円
(対医療収入比)	(21.3%)	(1.7%)	(10.0%)	(20.0%)	(19.7%)
給食材料費	2億2,257万円	364万円	651万円	—	2億3,272万円
(対医療収入比)	(0.6%)	(1.1%)	(0.1%)	—	(0.5%)
計	171億9,479万円	1,947万円	33億2,090万円	1億5,113万円	206億8,629万円
(対医療収入比)	(46.0%)	(6.1%)	(56.3%)	(20.7%)	(46.7%)

- ③消耗品費 6億4,417万円は、前年度比 3,094万円（4.6%）減少しました。
- ④光熱水費は、重油料 3億355万円、ガス料 4億774万円、電気料 8億5,069万円、水道料 1億3,469万円の合計 16億9,667万円となり、前年度比 5,479万円（3.1%）減少しました。
- ⑤修繕費は、施設修繕費 1億3,727万円、機器備品修繕費 2億7,777万円、合計 4億1,504万円となり前年度比 5,600万円（15.6%）増加しました。
- ⑥業務委託費 60億9,433万円は、前年度比 2,429万円（0.4%）減少しました。
病院別では、附属病院（医科）35億3,190万円、附属病院（歯科）855万円、内丸メディカルセンター（医科）9億349万円、内丸メディカルセンター（歯科）1億2,982万円となり、その他 15億2,057万円です。
- ⑦福利費 2億7,565万円は、学生福利費 3,212万円、職員福利費 2億4,353万円であり、健康診断経費等です。
- ⑧減価償却額 54億1,913万円は、前年度より 2億3,358万円減少しました。
- ⑨公租公課 2億15万円は、消費税 1億3,163万円、法人税・事業税 2,295万円、固定資産税・都市計画税 4,183万円等です。
- ⑩借入金利息により 5,475万円を計上しました。
- ⑪資産処分差額 2億7,380万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等です。
- ⑫その他の特別支出として、賞与引当金特別繰入額を 13億4,522万円計上しました。

2. 資本収支

(1) 資産の部

- ①施設関係支出 12億3,519万円は、岩手医科大学病院再編改修工事による 9億9,550万円等です。
- ②設備関係支出 4億3,171万円は、教育研究用機器備品 4億2,168万円等です。
- ③貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料 8億5,231万円、歯科貴金属 561万円、合計 8億5,792万円です。

(2) 負債、純資産の部

- ①退職給与引当金残高は 145億558万円です。賞与引当金残高は 13億3,664万円です。

- ②前受金残高 14 億 2,569 万円は、令和 8 年度入学生の学生生徒等納付金等です。
- ③預り金残高 8 億 2,860 万円は、源泉所得税 5,411 万円、区市町村民税 1 億 451 万円、私学共済掛金 1 億 6,129 万円等です。
- ④基本金は△20 万円組入、8 億 7,220 万円取崩し、1,332 億 4,151 万円となりました。
- ⑤当年度収支差額△39 億 7,084 万円と、前年度繰越収支差額△638 億 1,522 万円および基本金取崩額 8 億 7,220 万円を合計した翌年度繰越収支差額は、△669 億 1,386 万円となりました。
- ⑥純資産の部合計（基本金+繰越収支差額）は、前年度より 39 億 7,064 万円減少し、663 億 2,765 万円となりました。
- ⑦令和 7 年度末現在で作成する財産目録純資産額（資産総額－負債総額）は、663 億 2,765 万円です。
- ※各科目の説明等は 75 ページ以降に記載しています。

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

(1) 経営状況の分析

日本私立学校振興・共済事業団が公表する「定量的な経営判断指標」に基づき、令和 7 年度決算を適用した結果、「B0」区分（イエローゾーン予備段階）に該当いたしました。これは、経営上の一定のリスクが認められるものの、学校法人自らの経営努力により改善が可能な水準にあることを示しております。

令和 7 年度においては、円安による輸入コストの増加や国際的な原材料・エネルギー価格の高騰など、外部環境の影響が財務面に及ぶなか、光熱費や物価の上昇等により経費が増加いたしました。そのような状況下においても、矢巾附属病院および内丸メディカルセンターにおける医療収入は前年度に引き続き増収を維持し、資金収支の面では資金を確保していくことが可能な状態にあります。

※定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

教育研究活動のキャッシュフローを基礎に、外部負債と運用資産の状況により学校法人の経営状態を区分したものです。A1～D3 の 14 区分のうち、A3 以上が正常な経営状態となります。

(2) 経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本学は、医・歯・薬・看護学部を擁する医療系総合大学として、社会的使命を果たしつつ、高度な専門人材の育成と教育・研究活動並びに医療の質的向上に努めてまいりました。令和 7 年度においては、病院運営において医療収入が過去最高の 440 億円を超える額となり、これまで継続的に実施してきた経営改善の成果が顕著に表れました。

一方で、18 歳人口の減少が加速する中、大学間競争は一層激化しており、入学定員の充足と安定的な学生生徒等納付金収入の確保は重要な課題です。また、エネルギー価格の高止まりや物価上昇などの外的要因による恒常的なコスト増加も、本法人の財政に大きな影響を与えております。

こうした課題に対して、病院運営の面では内丸メディカルセンターの診療機能を矢巾附属病院へ集約したことに加えて、今後は医療DX、AIの利活用、遠隔医療基盤等を整備することで、さらなる業務の効率化を図り、研究時間の確保及び経営基盤の強化を実現し、大学病院機能と地域医療支援体制を持続的に強化する事業を展開します。また、研究面では令和 7 年度に実施した医歯薬総合研究所の組織改編を皮切りに、創薬研究に特化した研究体制の構築、地域産業や他大学と連携した域学連携と産官学連携の推進、学部・基礎・臨床の垣根を超えた共同研究を創出し、優秀な人材の確保や育成、補助金や寄付金等の外部資金の獲得を目指してまいります。

V 財務の概要

4. 令和7年度事業活動収支計算書

＜収入の部＞		＜支出の部＞		(単位：千円)
区分	科目	金額	科目	金額
教育活動収入支	1. 学生生徒等納付金	6,974,785	1. 人件費	23,092,814
	(1) 授業料	3,368,617	(1) 教員人件費	5,526,108
	(2) 入学金	553,375	(2) 職員人件費	14,678,345
	(3) 実験実習費	522,243	(3) 役員報酬	42,790
	(4) 教育充実費	1,295,800	(4) 退職金	200,501
	(5) 施設整備費	1,234,750	(5) 退職給与引当金繰入額	1,308,430
	2. 手数料	222,663	(6) 賞与引当金繰入額	1,336,640
	3. 医療収入	44,345,224	2. 諸経費	37,939,928
	(1) 入院収入	29,569,590	(1) 医療経費	20,686,288
	(2) 外来収入	14,520,399	(2) 消耗品費	644,169
	(3) その他の医療収入	255,235	(3) 光熱水費	1,696,668
	4. 寄付金	548,250	(4) 旅費	155,189
	(1) 特別寄付金	401,329	(5) 印刷製本費	73,497
	(2) 一般寄付金	143,336	(6) 通信費	120,593
	(3) 現物寄付	3,585	(7) 交通運搬費	76,974
	5. 経常費等補助金	4,082,047	(8) 洗濯費	57,232
	(1) 私立大学等経常費補助金	1,479,276	(9) 修繕費	415,039
	(2) その他の国庫補助金	982,078	(10) 諸会費	91,803
	(3) 地方公共団体補助金	1,620,393	(11) 賃借料	755,321
	(4) 学術研究振興資金	300	(12) 業務委託費	6,094,329
	6. 付随事業収入	1,355,559	(13) 福利費	275,649
	(1) 補助活動収入	164,344	(14) 減価償却額	5,419,131
	(2) 受託事業収入	1,144,834	(15) 公租公課	200,149
(3) 附属事業収入	23,980	(16) その他	1,177,897	
(4) 保育料等収入	22,401			
7. 雑収入	967,031			
	A 教育活動収入計	58,495,559	E 教育活動支出計	61,032,742
活動外収入支	8. 受取利息配当金	85,744	3. 借入金等利息	54,752
	B 教育活動外収入計	85,744	F 教育活動外支出計	54,752
特別収入支	9. 資産売却差額	0	4. 資産処分差額	273,803
	10. その他の特別収入	154,578	5. その他の特別支出	1,345,220
	(1) 施設設備寄付金	2,119	(1) 賞与引当金特別繰入額	1,345,220
	(2) 施設設備現物寄付	35,797		
	(3) 施設設備補助金	105,647		
	(4) 過年度修正額	11,015		
	C 特別収入計	154,578	G 特別支出計	1,619,023
	D 事業活動収入計	58,735,881	H 事業活動支出計	62,706,517

① 教育活動収支差額 (A-E)	△ 2,537,183	⑥ 基本金組入額合計	△ 200
② 教育活動外収支差額 (B-F)	30,992	⑦ 当年度収支差額 (⑤+⑥)	△ 3,970,836
③ 経常収支差額 (①+②)	△ 2,506,191	⑧ 前年度繰越収支差額	△ 63,815,216
④ 特別収支差額 (C-G)	△ 1,464,445	⑨ 基本金取崩額	872,196
⑤ 基本金組入前当年度収支差額 (D-H)	△ 3,970,636	⑩ 翌年度繰越収支差額 (⑦+⑧+⑨)	△ 66,913,856

5. 令和7年度資金収支計算書

<収入の部>		<支出の部>		(単位:千円)
科 目	金 額	科 目	金 額	
1. 学生生徒等納付金収入	6,974,785	1. 人件費支出	22,906,234	
2. 手数料収入	222,663	(1) 教員人件費支出	5,893,908	
3. 寄付金収入	546,784	(2) 職員人件費支出	15,655,765	
(1) 特別寄付金収入	403,448	(3) 役員報酬支出	42,790	
(2) 一般寄付金収入	143,336	(4) 退職金支出	1,313,771	
4. 補助金収入	4,187,694	2. 諸経費支出	32,485,418	
(1) 国庫補助金収入	2,476,094	(1) 医療経費支出	20,685,417	
(2) 地方公共団体補助金収入	1,711,300	(2) 一般教育研究経費支出	8,364,778	
(3) 学術研究振興資金収入	300	(3) 管理経費支出	3,435,223	
5. 資産売却収入	132	3. 借入金等利息支出	54,752	
6. 付随事業・収益事業収入	1,355,559	4. 借入金等返済支出	2,540,000	
7. 医療収入	44,345,224	5. 施設関係支出	1,235,192	
8. 受取利息・配当金収入	83,874	(1) 建物支出	16,208	
9. 雑収入	978,046	(2) 構築物支出	223,484	
10. 借入金等収入	1,000,000	(3) 建設仮勘定支出	995,500	
11. 前受金収入	1,425,693	6. 設備関係支出	431,709	
12. その他の収入	10,186,198	(1) 教育研究用機器備品支出	421,683	
(1) 前期末未収入金収入	9,332,988	(2) その他の設備関係支出	10,026	
(2) 預り金受入等収入	853,210	7. 資産運用支出	3,895,171	
13. 資金収入調整勘定	△ 11,354,542	8. その他の支出	4,260,141	
14. 前年度繰越支払資金	10,245,529	(1) 前期末未払金支払支出	3,155,694	
		(2) 預り金支払等支出	1,104,447	
		9. 資金支出調整勘定	△ 4,734,383	
		10. 翌年度繰越支払資金	7,123,405	
収入の部合計	70,197,639	支出の部合計	70,197,639	

7. 医療収入内訳

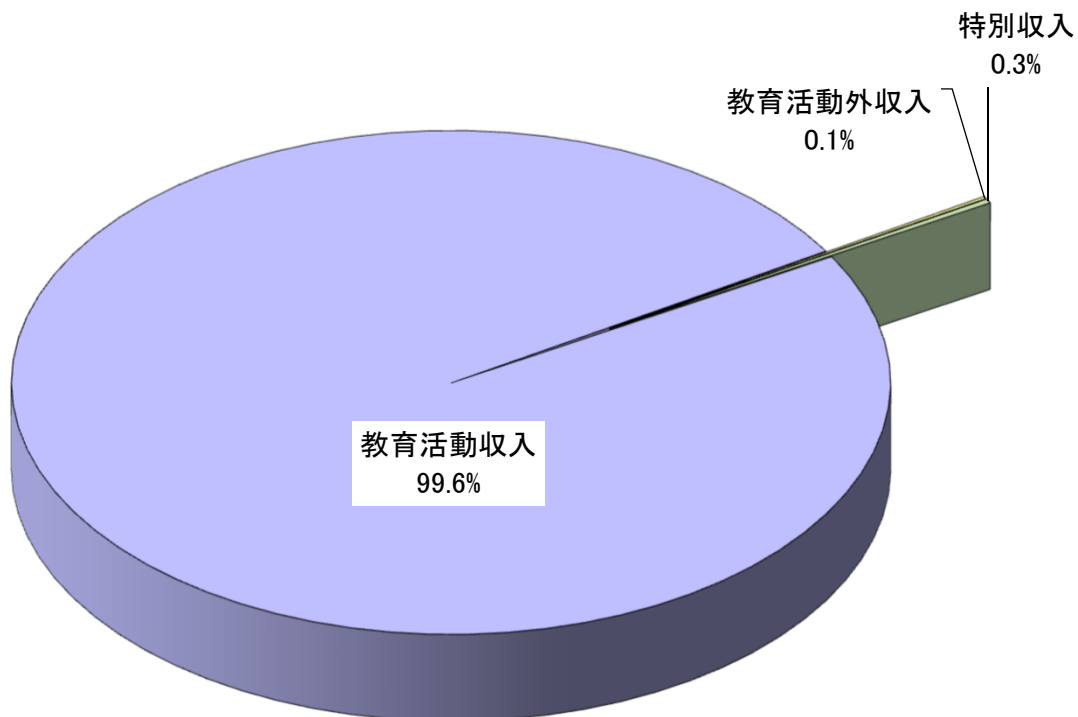
項 目			令和6年度決算	令和7年度決算
附属病院 (医科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	768人 92,323円 25,880,043千円 —	741人 102,651円 27,763,491千円 7.3%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	647人 47,814円 8,197,888千円 —	665人 47,393円 8,351,878千円 1.9%
附属病院 (歯科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	7人 76,330円 195,023千円 —	10人 70,783円 258,357千円 32.5%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	35人 6,726円 62,382千円 —	32人 6,917円 58,655千円 △6.0%
高度救命救急センター	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	46人 73,587円 1,235,534千円 —	31人 88,215円 998,149千円 △19.2%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	8人 28,050円 59,467千円 —	7人 33,779円 62,660千円 5.4%
内丸メデイカルセンター (医科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	21人 78,218円 599,540千円 —	21人 71,502円 548,065千円 △8.6%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	914人 21,535円 5,216,083千円 —	814人 24,666円 5,320,614千円 2.0%
内丸メデイカルセンター (歯科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	0人 —円 2,405千円 —	0人 —円 1,528千円 △36.5%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	311人 9,568円 788,570千円 —	289人 9,487円 726,592千円 △7.9%
医療収入合計			42,236,935千円	44,089,989千円
その他の医療収入			210,724千円	255,235千円
総 合 計			42,447,659千円	44,345,224千円

注1) 各病院の入院患者数は在院患者数(24時現在の患者数)に退院患者数を加算した延べ患者数です。

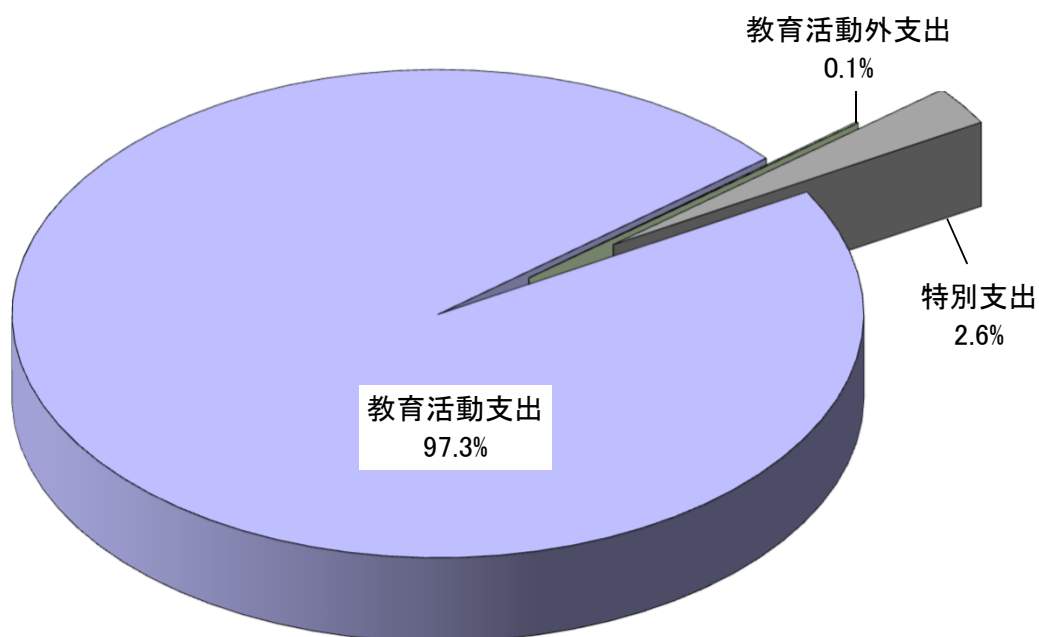
注2) 1人1日平均診療単価は審査過誤減削減後の診療単価です。

8. 令和7年度事業活動収支構成比率

〔事業活動収入〕

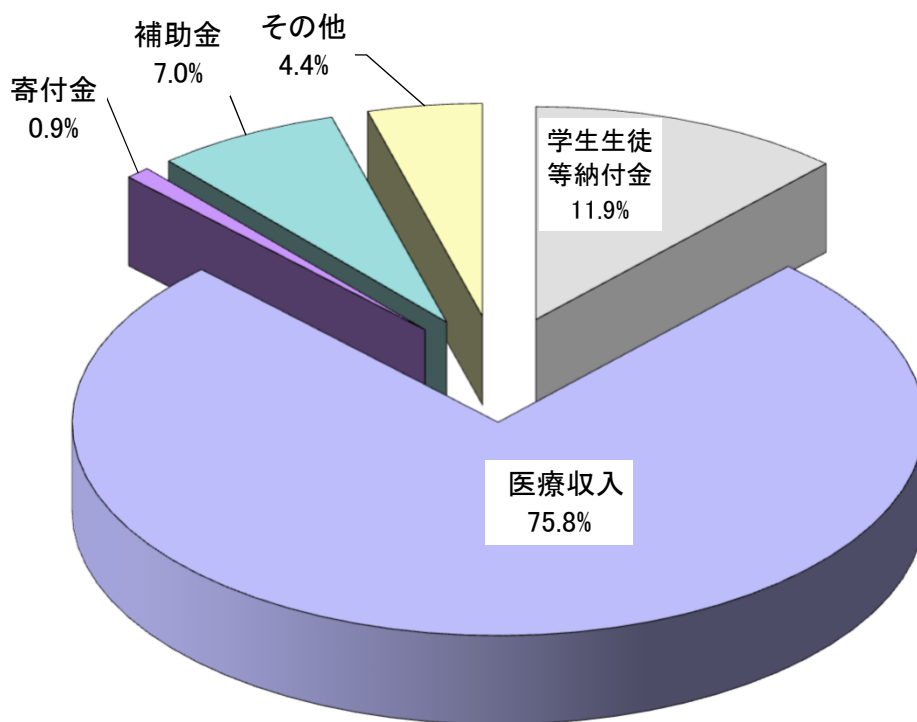


〔事業活動支出〕

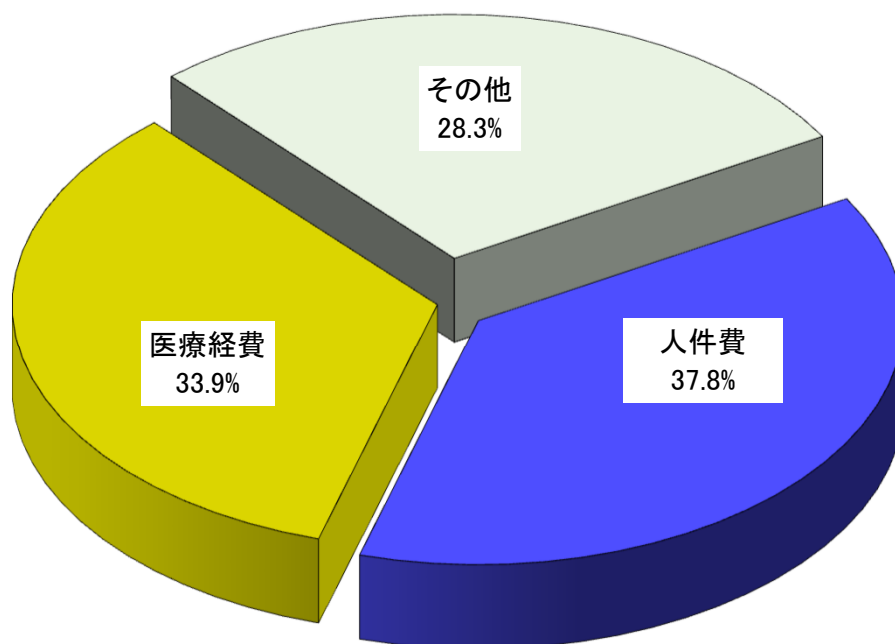


9. 令和7年度教育活動収支構成比率

〔教育活動収入〕



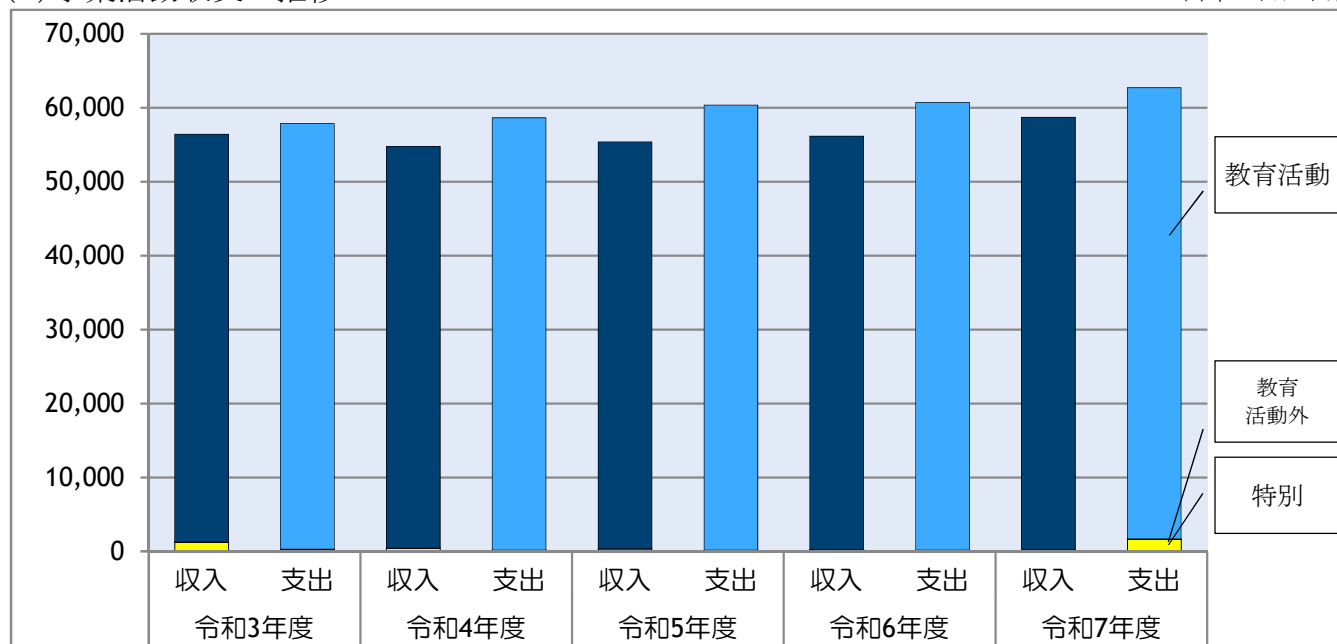
〔教育活動支出〕



10. 経年比較

(1) 事業活動収支の推移

(単位:百万円)



< 事業活動収入 >

(単位:百万円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動収入	55,179	54,368	55,049	55,894	58,495
教育活動外収入	3	6	9	24	85
特別収入	1,250	411	317	242	154
事業活動収入計	56,434	54,787	55,377	56,160	58,735

※百万円未満切捨てのため、合計が計算上一致しない場合があります。以降も同様となります。

【構成比率】

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動収入	97.8%	99.2%	99.4%	99.5%	99.6%
教育活動外収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
特別収入	2.2%	0.8%	0.6%	0.5%	0.3%
事業活動収入計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

< 事業活動支出 >

(単位:百万円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動支出	57,554	58,449	60,208	60,554	61,032
教育活動外支出	76	71	65	59	54
特別支出	236	100	82	98	1,619
事業活動支出計	57,868	58,621	60,356	60,712	62,706

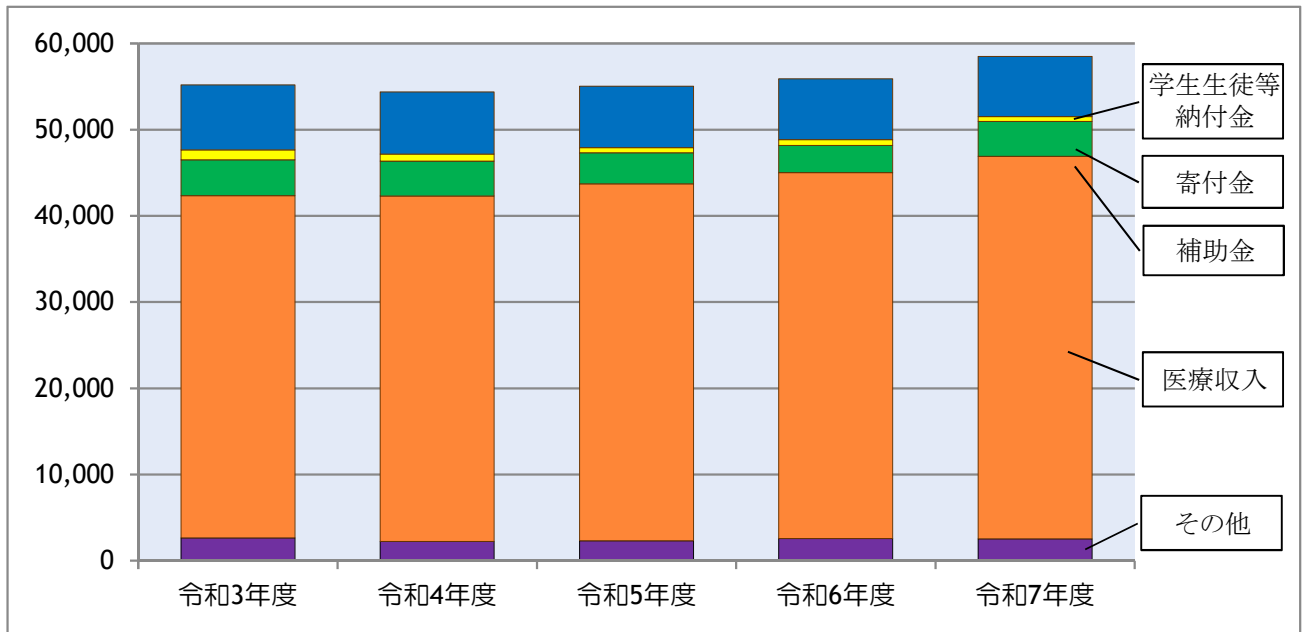
【構成比率】

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動支出	99.5%	99.7%	99.8%	99.7%	97.3%
教育活動外支出	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
特別支出	0.4%	0.2%	0.1%	0.2%	2.6%
事業活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 教育活動収支の推移

①教育活動収入の推移

(単位:百万円)



<教育活動収入>

(単位:百万円)

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金	7,530	7,215	7,152	7,046	6,974
寄付金	1,135	795	579	665	548
経常費等補助金	4,191	4,067	3,589	3,162	4,082
付随事業収入	1,312	1,184	1,260	1,297	1,355
医療収入	39,672	40,070	41,406	42,447	44,345
雑収入他	1,337	1,035	1,060	1,274	1,189
教育活動収入合計	55,179	54,368	55,049	55,894	58,495

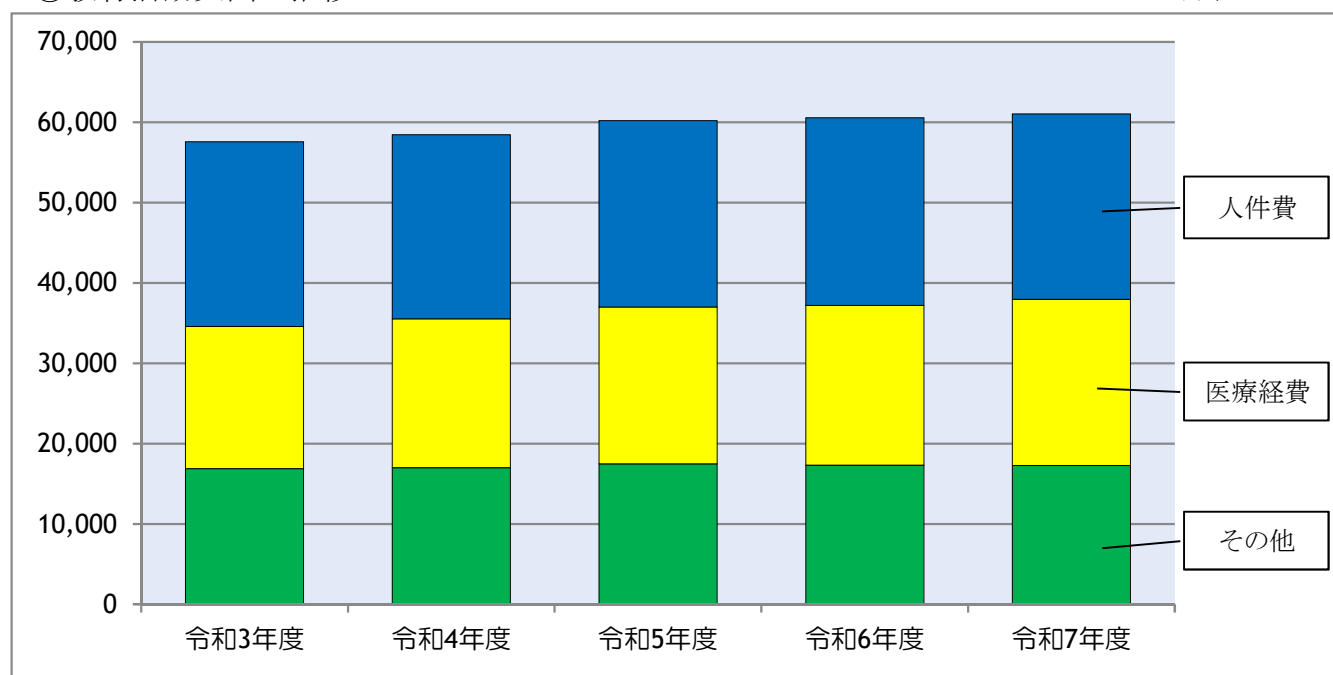
【構成比率】

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金	13.6%	13.3%	13.0%	12.6%	11.9%
寄付金	2.1%	1.5%	1.1%	1.2%	0.9%
経常費等補助金	7.6%	7.5%	6.5%	5.7%	7.0%
付随事業収入	2.4%	2.2%	2.3%	2.3%	2.3%
医療収入	71.9%	73.6%	75.2%	75.9%	75.9%
雑収入他	2.4%	1.9%	1.9%	2.3%	2.0%
教育活動収入合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

②教育活動支出の推移

(単位:百万円)



<教育活動支出>

(単位:百万円)

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費	22,966	22,935	23,191	23,340	23,092
教育研究経費	30,959	32,134	33,524	33,388	34,105
医療経費	17,704	18,504	19,562	19,895	20,687
一般教育研究経費	13,255	13,630	13,962	13,493	13,418
管理経費	3,620	3,366	3,490	3,821	3,815
徴収不能額	8	11	2	3	19
教育活動支出計	57,554	58,449	60,208	60,554	61,032

【構成比率】

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費	39.9%	39.2%	38.5%	38.6%	37.8%
教育研究経費	53.8%	55.0%	55.7%	55.1%	55.9%
医療経費	30.8%	31.7%	32.5%	32.8%	33.9%
一般教育研究経費	23.0%	23.3%	23.2%	22.3%	22.0%
管理経費	6.3%	5.8%	5.8%	6.3%	6.3%
徴収不能額	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 資金収支の推移

① 収入の推移

(単位:百万円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	7,530	7,215	7,152	7,046	6,974
寄付金収入	1,357	890	668	663	546
補助金収入	5,030	4,315	3,684	3,363	4,187
資産売却収入	0	0	29	0	0
付随事業・収益事業収入	1,312	1,184	1,260	1,297	1,355
医療収入	39,672	40,070	41,406	42,447	44,345
受取利息・配当金収入	3	6	9	24	83
雑収入他	1,338	1,037	1,112	1,274	1,200
長期借入金収入	0	0	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0	0	1,000
前受金収入	1,333	1,489	1,428	1,410	1,425
その他の収入	9,716	10,267	15,274	10,163	10,186
資金収入調整勘定	△ 10,890	△ 10,942	△ 10,629	△ 10,780	△ 11,354
前年度繰越支払資金	9,233	9,731	8,531	11,839	10,245
収入の部合計	65,638	65,266	69,929	68,751	70,197

【構成比率】

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	11.5%	11.1%	10.2%	10.2%	9.9%
寄付金収入	2.1%	1.4%	1.0%	1.0%	0.8%
補助金収入	7.7%	6.6%	5.3%	4.9%	6.0%
資産売却収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
付随事業・収益事業収入	2.0%	1.8%	1.8%	1.9%	1.9%
医療収入	60.4%	61.4%	59.3%	61.7%	63.2%
受取利息・配当金収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
雑収入他	2.0%	1.6%	1.6%	1.9%	1.7%
長期借入金収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
短期借入金収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
前受金収入	2.0%	2.3%	2.0%	2.1%	2.0%
その他の収入	14.8%	15.7%	21.8%	14.8%	14.6%
資金収入調整勘定	△ 16.6%	△ 16.8%	△ 15.2%	△ 15.7%	△ 16.2%
前年度繰越支払資金	14.1%	14.9%	12.2%	17.2%	14.6%
収入の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

②支出の推移

(単位:百万円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費支出	22,857	22,846	22,738	23,204	22,906
教育研究経費支出	25,559	26,999	28,133	28,073	29,050
医療経費支出	17,693	18,602	19,493	19,862	20,685
一般教育研究経費支出	7,866	8,397	8,640	8,211	8,365
管理経費支出	3,180	2,977	3,102	3,435	3,435
借入金等利息支出	76	71	65	59	54
借入金等返済支出	1,155	1,540	1,540	1,540	2,540
施設関係支出	612	48	97	234	1,235
設備関係支出	859	961	1,252	626	431
資産運用支出	500	500	300	300	3,895
その他の支出	4,640	4,299	4,357	4,226	4,260
予備費	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 3,535	△ 3,508	△ 3,497	△ 3,195	△ 4,734
翌年度繰越支払資金	9,731	8,531	11,839	10,245	7,123
支出の部合計	65,638	65,266	69,929	68,751	70,197

【構成比率】

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費支出	34.8%	34.9%	32.6%	33.8%	32.6%
教育研究経費支出	39.0%	41.3%	40.3%	40.9%	41.4%
医療経費支出	27.0%	28.4%	27.9%	28.9%	29.5%
一般教育研究経費支出	12.0%	12.9%	12.4%	12.0%	11.9%
管理経費支出	4.8%	4.6%	4.4%	5.0%	4.9%
借入金等利息支出	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
借入金等返済支出	1.8%	2.4%	2.2%	2.2%	3.6%
施設関係支出	0.9%	0.1%	0.1%	0.3%	1.8%
設備関係支出	1.3%	1.5%	1.8%	0.9%	0.6%
資産運用支出	0.8%	0.8%	0.4%	0.4%	5.5%
その他の支出	7.1%	6.6%	6.2%	6.1%	6.1%
予備費	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資金支出調整勘定	△ 5.4%	△ 5.4%	△ 5.0%	△ 4.6%	△ 6.7%
翌年度繰越支払資金	14.8%	13.1%	16.9%	14.9%	10.1%
支出の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 貸借対照表の推移

①資産の推移

(単位:百万円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産	101,560	97,423	88,544	83,991	80,399
有形固定資産	92,721	88,100	83,734	78,893	74,911
土地	10,347	10,366	10,348	10,348	10,348
建物	64,815	61,886	58,930	56,298	53,361
その他の有形固定資産	17,556	15,848	14,456	12,247	11,202
特定資産	8,603	9,104	4,604	4,904	5,204
その他の固定資産	235	219	204	193	282
流動資産	20,101	19,182	21,953	20,538	21,514
現金預金	9,731	8,531	11,839	10,245	7,123
その他の流動資産	10,369	10,651	10,114	10,293	14,391
資産の部合計	121,661	116,606	110,498	104,530	101,913

②負債の推移

(単位:百万円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定負債	30,960	29,605	28,669	27,191	25,782
長期借入金	17,305	15,765	14,225	12,685	11,145
その他の固定負債	13,655	13,840	14,444	14,506	14,637
流動負債	7,038	7,172	6,978	7,040	9,803
短期借入金	1,540	1,540	1,540	1,540	1,540
その他の流動負債	5,498	5,632	5,438	5,500	8,263
負債の部合計	37,999	36,777	35,648	34,231	35,585

③純資産の推移

(単位:百万円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本金	134,777	134,973	132,417	134,113	133,241
第1号基本金	126,249	126,245	127,714	129,410	128,538
第2号基本金	4,600	4,800	0	0	0
第3号基本金	403	404	404	404	404
第4号基本金	3,524	3,524	4,299	4,299	4,299
繰越収支差額	△ 51,114	△ 55,145	△ 57,567	△ 63,815	△ 66,913
純資産の部合計	83,662	79,828	74,849	70,298	66,327

④負債及び純資産の部合計推移

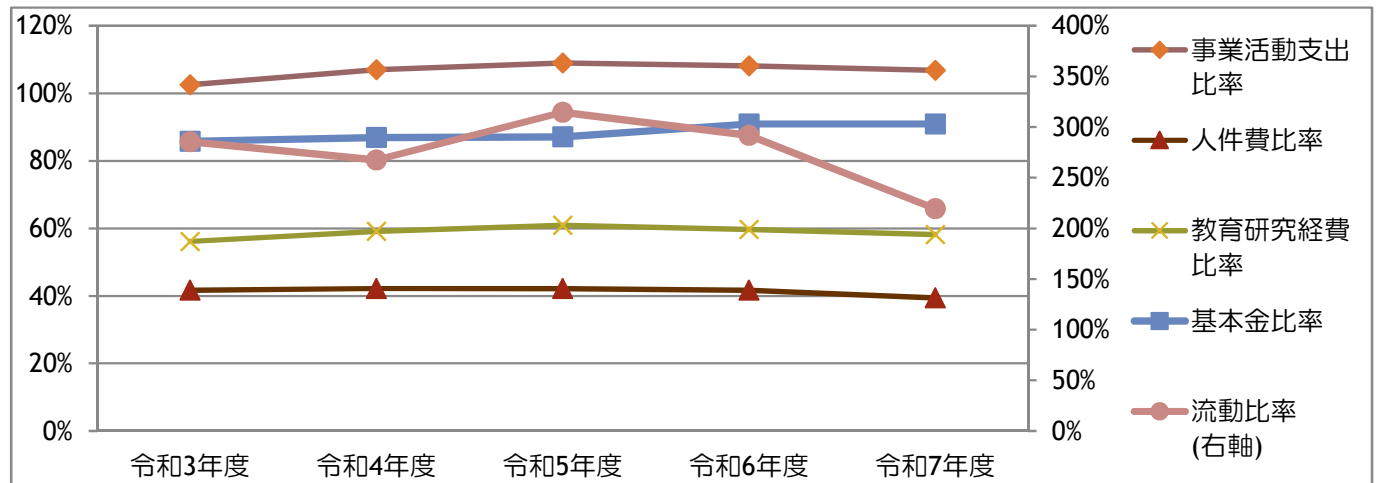
(単位:百万円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
負債及び純資産の部合計	121,661	116,606	110,498	104,530	101,913

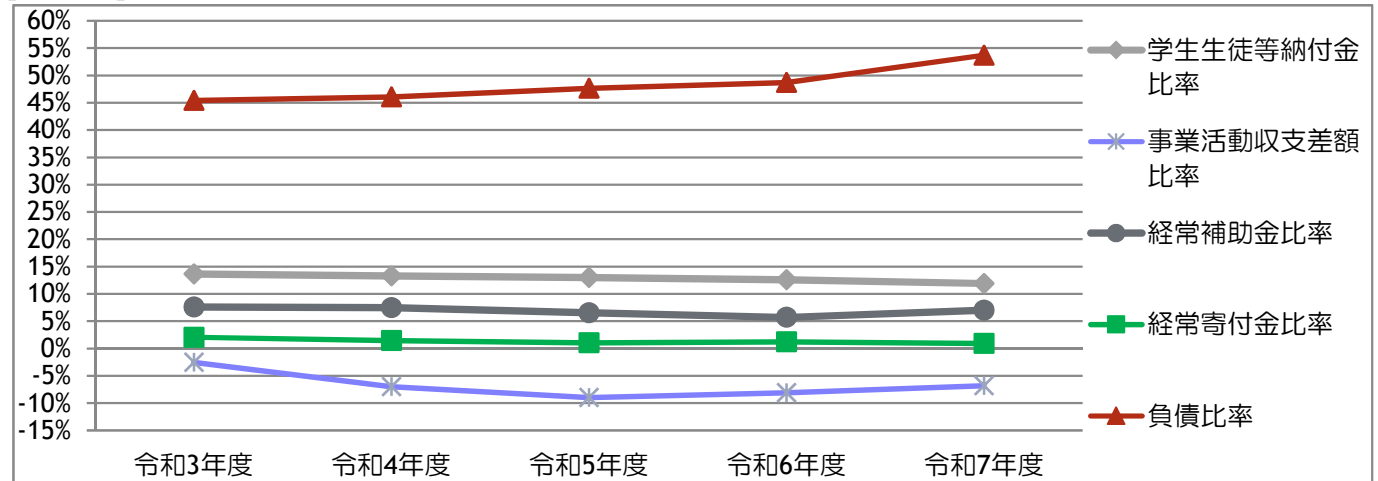
V 財務の概要

(5) 主要財務比率の推移

【グラフA】



【グラフB】



※経常収入=教育活動収入+教育活動外収入

主要財務比率		計算式	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
グラフA	1 事業活動支出比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	102.5%	107.0%	109.0%	108.1%	106.8%
	2 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	41.6%	42.2%	42.1%	41.7%	39.4%
	3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	56.1%	59.1%	60.9%	59.7%	58.2%
	4 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	85.8%	86.9%	87.1%	90.9%	90.9%
	5 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	285.6%	267.4%	314.6%	291.7%	219.4%
グラフB	6 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	13.6%	13.3%	13.0%	12.6%	11.9%
	7 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△2.5%	△7.0%	△9.0%	△8.1%	△6.8%
	8 経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収入の補助金}}{\text{経常収入}}$	7.6%	7.5%	6.5%	5.7%	7.0%
	9 経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収入の寄付金}}{\text{経常収入}}$	2.1%	1.5%	1.1%	1.2%	0.9%
	10 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	45.4%	46.1%	47.6%	48.7%	53.7%

11. 学校法人会計の特徴について

1. 学校法人会計の特徴と企業会計との違い

学校法人は、永続的な教育研究活動の維持向上を主目的とした非営利組織であり、国や地方公共団体より補助を受けている公共性の高い組織でもあります。そのため、昭和46年に制定された「学校法人会計基準」に則り、営利の追求を目的とする企業会計とは異なる独自の会計処理が義務付けられています。

	学 校 法 人	企 業
組織の目的	永続的な教育研究活動の維持向上 (非営利組織)	利益の獲得、出資者への還元 (営利組織)
会計処理	学校法人会計基準	企業会計原則

2. 学校法人会計における作成書類

学校法人会計基準では、基本的な会計処理のルールについては複式簿記や企業会計の原則を踏襲しておりますが、財務書類については学校法人会計独自の書類作成が必要となります。

①事業活動収支計算書（企業会計：損益計算書）

当該会計年度の収入と支出の内容と均衡状態を明確にし、学校法人の経営状態を表す財務書類です。

企業会計における損益計算書に相当しますが、企業の経営成績を示すために当該会計年度の収益と費用を計算し損益管理を行うことを目的とする損益計算書に対し、事業活動収支計算書では、利益追求を目的としていない学校法人の諸活動を損益ではなく収支として表示し、基本金(※)への組入額を加味した収支の差額によって経営状態を表すことを目的としています。

なお、資金収支計算書で計上されない現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されますが、負債となる借入金や前受金（翌年度に計上すべき収入の入金分）、固定資産取得に係る支出等については計上されません。

※基本金

学校法人が諸活動を行うにあたっての必要な資産を継続的に維持するために組み入れた金額です。

企業会計における資本金に類似していますが、出資者の出資額を表す資本金に対し、基本金は、学校法人設立時に受け入れた寄付金や設立後の事業活動で獲得した自己資金により、基本金組入対象の資産を取得する金額を表します。

事業活動収支の基本金組入前当年度収支差額は、当年度の収支状況を示しますが、基本金組入対象資産は当年度に獲得した自己資金だけで取得するものではなく、学校法人が将来のために準備した積立金なども取得の原資となります。

そのため、基本金組入後の当年度収支差額によって示された経営状態は、資金収支計算書および貸借対照表とあわせて評価する必要があります。

②資金収支計算書（企業会計：キャッシュフロー計算書）

全ての収入及び支出の内容と資金の流れを明らかにする財務書類です。

企業会計におけるキャッシュフロー計算書に相当しますが、資金の獲得能力や支払能力の分析を目的とするキャッシュフロー計算書に対し、資金収支計算書では、当該会計年度の諸活動における全ての収支の内容及び支払資金の顛末を明らかにすることを目的としています。

なお、現預金が増減する諸活動全てが収支として計上されますが、現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されません。

③貸借対照表（企業会計：貸借対照表）

当該年度末時点での学校法人の資産、負債、純資産（資産－負債）の額によって財政状況を明らかにするための財務書類です。

事業活動収支計算書及び資金収支計算書は単年度の収支状況を表していますが、貸借対照表は今までの財政活動における累計額を表します。

なお、企業会計における貸借対照表とほぼ同様の様式となっていますが、企業会計では資本金を表示する部分について、学校法人会計では基本金を表示するといった違いがあります。

	学 校 法 人	企 業
財務書類	事業活動収支計算書	損益計算書
	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	貸借対照表	貸借対照表

①事業活動収支計算書の科目説明

教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手数料	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄付金	金銭その他資産を寄贈者から贈与されたもので補助金とならないもの
経常費等補助金	国または地方公共団体からの補助金
国庫補助金	国から交付される補助金
地方公共団体補助金	地方公共団体から交付される補助金
付随事業収入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医療収入	医療に関わる収入
雑収入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
教育活動収入計	教育活動収入科目の合計額
事業活動支出の部	
人件費	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金、退職給与引当金、賞与引当金への繰入額等
教育研究経費	教育研究のために支出する経費
医療経費	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一般教育研究経費	医療経費以外の教育研究経費
管理経費	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
徴収不能額	債権について徴収不能となった額
教育活動支出計	教育活動支出科目の合計額
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	預金利息および株式の配当金
教育活動外収入計	教育活動外収入科目の合計額
事業活動支出の部	
借入金等利息	借入金の支払利息
教育活動外支出計	教育活動外支出科目の合計額
経常収支差額	法人の経常的な活動である、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した額
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	資産の売却で、代価が帳簿残高を超えたときの超過額
その他の特別収入	施設設備の取得に係る寄付金・補助金等の収入、過年度決算の誤りによる収入等
特別収入計	特別収入科目の合計額
事業活動支出の部	
資産処分差額	資産の売却で代価が帳簿価格を下回った時の差額
その他の特別支出	過年度決算の誤りによる支出等
特別支出計	特別支出科目の合計額
基本金組入前当年度収支差額	当該年度の事業活動収入から事業活動支出を引いた収支差額
基本金組入額合計	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、収入のうちから組入れる額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引した合計額
前年度繰越収支差額	前年度まで繰り越された、当年度収支差額の累計額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額を足した、翌年度に繰り越される収支差額

②資金収支計算書の科目説明

収入の部	
科 目	摘 要
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手 数 料 収 入	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄 付 金 収 入	金銭を寄贈者から贈与されたもので補助金としないもの
補 助 金 収 入	国または地方公共団体からの補助金
国 庫 補 助 金 収 入	国から交付される補助金
地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入	地方公共団体から交付される補助金
資 産 売 却 収 入	資産の売却収入
付 随 事 業 収 入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医 療 収 入	医療に関わる収入
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	預金利息および株式の配当金
雑 収 入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
借 入 金 等 収 入	借入金等の収入
前 受 金 収 入	翌年度入学の学生等に係る学納金収入等
そ の 他 の 収 入	上記の各収入以外の収入
資 金 収 入 調 整 勘 定	当会計年度の諸活動に対する収入で前会計年度以前に支払資金収入になったもの、 当会計年度の諸活動に対する収入で翌会計年度以降に支払資金を受入れるもの
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	期首の現預金残高
収 入 の 部 合 計	各収入科目の合計額
支出の部	
科 目	摘 要
人 件 費 支 出	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金等
教 育 研 究 経 費 支 出	教育研究のために支出する経費
医 療 経 費 支 出	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一 般 教 育 研 究 経 費 支 出	医療経費以外の教育研究経費
管 理 経 費 支 出	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
借 入 金 等 利 息 支 出	借入金等の支払利息
借 入 金 等 返 済 支 出	借入金等の返済支出
施 設 関 係 支 出	土地、建物、構築物、建設仮勘定等の支出
設 備 関 係 支 出	教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書等の支出
資 産 運 用 支 出	有価証券の取得、引当特定資産の繰入支出等
そ の 他 の 支 出	上記の各支出以外の支出
資 金 支 出 調 整 勘 定	当該会計年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前に資金を支払ったもの、 当会計年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後に資金が支払うもの
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	期末の現預金残高
支 出 の 部 合 計	各支出科目の合計額

③貸借対照表の科目説明

資産の部	
科 目	摘 要
固 定 資 産	有形固定資産、特定資産及びその他の固定資産
有 形 固 定 資 産	土地、建物、構築物、機器備品等の形が有る資産
土 地	校舎敷地、運動場等
建 物	校舎、体育館、建物に附属する電気設備、空調設備等
その他の有形固定資産	土地、建物以外の有形固定資産
特 定 資 産	施設の拡充等に係る預金等の用途を特定する資産
そ の 他 の 固 定 資 産	有価証券やソフトウェア、敷金等の形が無い資産
流 動 資 産	資産のうち、1年以内に現金化、費用化できるもの
現 金 預 金	現金及びいつでも引き出すことができる預貯金
そ の 他 の 流 動 資 産	現金預金以外の流動資産
資 産 の 部 合 計	固定資産と流動資産の合計額
負債の部	
科 目	摘 要
固 定 負 債	長期借入金、長期未払金等の支払期限が1年を超える負債
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金
そ の 他 の 固 定 負 債	長期借入金以外の固定負債
流 動 負 債	短期借入金、未払金等の支払期限が1年以内である負債
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内である借入金
そ の 他 の 流 動 負 債	短期借入金以外の流動負債
負 債 の 部 合 計	固定負債と流動負債の合計額
純資産の部	
科 目	摘 要
基 本 金	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして組み入れた金額
第 1 号 基 本 金	固定資産に対応する基本金
第 2 号 基 本 金	施設の拡充に対応する基本金
第 3 号 基 本 金	奨学資金に対応する基本金
第 4 号 基 本 金	恒常的な支払資金に対応する基本金
繰 越 収 支 差 額	繰り越される収支差額
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	翌年度に繰り越される収支差額
純 資 産 の 部 計	基本金と繰越収支差額の合計額
科 目	摘 要
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	負債の部と純資産の部の合計額

VI 学校法人の業務の適正を確保するための体制 （内部統制システム）の整備及び運用状況の概要

1. 関係する決議の概要

本法人は、2025年2月25日、理事会において「理事の職務執行が法令・寄附行為に適合すること及び業務の適正を確保するための体制」（以下、内部統制システムと表記）の整備に関する基本方針を以下のとおり決定しています。

（1）経営に関する管理体制

- ①寄附行為及び理事会決定に基づき、業務を執行する理事の担当業務を明確化し、事業運営の適切かつ迅速な推進を図る。
- ②理事会、評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報については、寄附行為及び稟議規程、文書取扱規程、文書保存規程及び経理規程等に基づき、適切に作成、保存及び管理する。

（2）リスク管理に関する体制

危機管理規程及び危機管理に関する個別マニュアル等に基づき、リスク対応方法等を明確にした上、適切な管理体制を構築するものとする。

（3）コンプライアンスに関する管理体制

公益通報者の保護等に関する規程その他関係規程に基づき、理事及び職員の職務の執行が法令並びに寄附行為に適合することを確保するため、適切に管理する。

（4）監査環境の整備（監事の監査業務の適正性を確保するための体制）

- ①監事は学校法人岩手医科大学監事監査規程（以下「監事監査規程」という。）に基づき、監査を行う。
- ②監事の求めに応じ、監事の職務を補助する職員（以下「補助職員」という。）を配置する。
- ③補助職員は、監事監査規程に定めるところにより、承認を得て監事の職務以外の職務に従事することができる。
- ④補助職員の異動、懲戒等については、予め監事にその内容、発令日を通知する。
- ⑤理事及び職員は、監事監査規程上の責務を誠実に果たさなければならない。
- ⑥監事監査規程に定める監事への報告を行ったことを理由とする不利益な取り扱いは、これを行ってはならない。
- ⑦理事長は、定期的に監事と会合を持つ等により意見交換を行い、相互認識を深める。
- ⑧監事はその職務の執行について生ずる費用の前払い若しくは前払いした費用の償還又は負担した債務の弁済を請求した場合は、速やかに相当額を支払う。

2. 体制整備及び運用状況の概要

2025年度は、各部門・所属に対し、内部統制システムの基本方針に基づき適切に業務を推進すること、所管する学内規程等及び体制の自己点検を行うとともに、適切に見直しを行うことを周知しました。また、当該取り組み状況については、各部門・所属からの報告機会を設け、本法人の内部統制システムが適切に運用されていることを確認しました。



〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号

Tel 019-651-5111 (代表)

www.iwate-med.ac.jp

発行 令和8年5月25日 岩手医科大学 財務部経営戦略課

令和7（2025）年度事業報告書の附属明細書

特記事項なし